

秋田県文化財調査報告書第70集

遺跡分布調査報告書

1980・3

秋田県教育委員会

序

遺跡分布調査は埋蔵文化財行政の中で最初におこなわなければならない仕事の一つであります。しかもこの調査は遺跡保護の基礎的な仕事であり、遺跡保護のスタートはここからはじまるといってよいでしょう。

この基礎的な調査を今年度は4地区でおこない、調査総面積は2250haであります。調査員の方々のご協力により、新しく104ヶ所の遺跡が発見されたのであります。これらの遺跡は開発予定地域内に所在することから、今後具体的な保護策をこうじなければならぬ遺跡であります。この点を十分に考慮し、遺跡の所在する市町村と連絡を密にし、開発側とも協議を重ねてまいりたいと考えております。

また範囲確認調査をした遺跡は、昭和55年度において保存及び発掘調査をするべく具体的に動き出さねばなりません。これらについても埋蔵文化財を保護するという立場で対処したいと考えておりますので、今後ともこれらの保存、保護にご協力くださいますようお願い申し上げます。

最後にご多忙のところ調査をお引き受けくださいました調査員ならびに調査にご協力いただいた関係各位に心から感謝の意を表します。

昭和55年3月

秋 田 県 教 育 委 員 会

教育長 畠 山 芳 郎

目 次

序

I. はじめに	1
II. 昭和54年度、遺跡分布調査実施要項	1
遺跡分布調査	1
遺跡範囲確認調査	2
III. 調査の結果	5
1. 能代開拓建設事業区域内遺跡一覧	5
2. 工業団地造成区域内遺跡一覧	8
3. 玉川ダム工事区域内遺跡一覧	9
4. 秋田湾地区開発区域内遺跡一覧	10
5. 遺跡範囲確認調査	13
藤木一本柳谷地遺跡	13
桐木田遺跡	17
竹生遺跡	22
杉沢野遺跡	26
街道上遺跡	31
藤株遺跡	37
坂の上遺跡	41
菅の沢遺跡	45

〔例 言〕

1. 本報告書は昭和54年度、秋田県教育委員会が国庫補助を得て遺跡分布調査を実施した結果をまとめたものである。
2. 遺跡分布調査は各調査員から提出された調査カードにもとづいて、教育庁文化課が報告のように一覧表、位置につくりかえたものである。
3. 範囲確認調査は各遺跡担当者が作成したものをそのまま掲載したものである。したがって執筆者は調査担当者である。
4. 本報告書の編集は秋田県教育庁文化課がおこなったものである。
5. 遺跡分布調査のうち能代開拓建設事業だけは昭和53年度、54年度の2ヶ年のものをまとめたものである。
6. 範囲確認遺跡のうち、婆姥子石、後野遺跡は調査の結果、遺構その他確認できなかったことから、本報告では除外した。

〔感 謝〕

本調査には次の方々からご協力いただきました。記して感謝の意を表したいと思います。

能代市教育委員会、男鹿市教育委員会、八竜町教育委員会、山本町教育委員会、峰浜村教育委員会、若美町教育委員会、昭和町教育委員会、天王町教育委員会、五城目町教育委員会、飯田川町教育委員会、鷹巣町教育委員会、田沢湖町教育委員会、大曲市教育委員会、横手市教育委員会、平鹿町教育委員会、雄勝町教育委員会、秋田県農政部農地整備課、雄勝農林事務所土地改良課、仙北平野土地改良事務所、東北農政局能代開拓建設事業所。

I. は じ め

昭和54年度の遺跡分布調査は53年度から継続して行う能代開拓建設事業計画区域、工業団地造成計画区域（横手市、平鹿町）、玉川ダム建設計画区域（田沢湖町）、秋田湾地区開発計画区域（男鹿市他5町）の4区域、面積約2,250haにおよんだ。また遺跡範囲確認調査は県営ほ場整備、能代開拓建設事業、国道バイパス、農免道路建設に係る10遺跡の調査を実施した。

分布調査は調査員を委嘱し、範囲確認調査は県教育庁文化課の職員が中心となっておこなった。各調査は以下の実施要項にしたがって実施した。

II. 昭和54年度、遺跡分布調査実施要項

遺跡分布調査

1. 調査の目的

国営能代開拓建設事業（能代市、八竜町、山本町）、工業団地造成（横手市、平鹿町）、玉川ダム建設（田沢湖町）、秋田湾地区開発（男鹿市、天王町、若美町、五城目町、昭和町、飯田川町）地域内の遺跡分布調査（遺跡の有無の確認）と、昭和55年度、県営、国営圃場整備計画区域内にある遺跡の範囲確認調査を実施し、埋蔵文化財の保護をはかることを目的に実施するものである。

2. 調査の概要

(1) 調査主体者 秋田県教育委員会

(2) 調査対象地域・面積・調査日数

種別	調査地区名	調査面積	調査日数	所在市町村
遺跡 確認	能代開拓建設事業	1,000ha	15日	能代市・八竜町・山本町
	工業団地造成	160ha	10日	横手市・平鹿町
	玉川ダム建設	900ha	15日	田沢湖町
	秋田湾地区開発	190ha	10日	男鹿市・天王町・若美町・昭和町・五城目町・飯田川町
計		2,250ha	50日	12市町村

(3) 実施の方法

A. 確認調査

予定地域内を歩き、表面検集などをおこなって遺跡の有無を確認し、必要に応じてボーリング調査、部分発掘を試み、遺跡の有無と範囲を推測する。

3. 調査員

調査地区	調査員名
能代開拓建設事業	武田孝義・中川和彦・小林喜兵
工業団地造成	伊藤孝憲・山田貞吉
玉川ダム建設	船山幸男・石川成寛・千葉惣永
秋田湾地区開発	浜田忠雄・安田忠市

4. 調査期間

A. 野外調査期間

昭和54年6月20日～10月31日

B. 整理・調査カード・報告書作成

昭和54年11月1日～昭和55年2月20日

遺跡範囲確認調査

1. 調査の目的

遺跡範囲確認調査は遺跡を部分的に発掘し、その深さ・広さ・遺構・遺物の有無を確認し、遺跡の性格を推測することを目的とする。今回調査の対象になっている遺跡は昭和55年度は場整備等の開発計画内にあり、破壊される可能性のある遺跡である。そこでこれらの遺跡の保護策をこうずるために緊急に調査を実施するものである。

2. 調査の主体者

秋田県教育委員会

3. 調査員

秋田県教育庁文化課学芸主事 富樫 泰 時

社教主事 池 田 憲 和

” 畠 山 憲 司

文化財主事 橋 本 高 史

払田柵跡調査事務所

学芸主事 船 木 義 勝

(補佐員)

竹 村 昭 雄

田口 都

(補助員)

佐藤和弘

渡辺健太郎

高橋浩樹

4. 調査対象遺跡

原因	遺跡名	所在地	原因	遺跡名	所在地
県営ほ場整備	藤木一本柳遺跡	大曲市	能代開拓建設事業	街道上遺跡	能代市
	婆姥子石遺跡	雄勝町		杉沢野遺跡	能代市
	桐木田井戸	雄勝町		後野遺跡	能代市
農免道路	菅の沢遺跡	男鹿市	国ノバパス遺跡	竹生遺跡	能代市
	坂の上遺跡	男鹿市		藤株遺跡	鷹巣町

5. 調査の方法

- ① 表面採集及び発掘調査（遺構確認面まで掘り下げる）を試み、遺跡の深さ、広さ及び性格を推測する。
- ② 調査期間は6日～10日間とし、その期間のできる限り発掘面積を面的に広げて遺構の確認につとめる。
- ③ 測量は新規におこなわず、開発部局で作成した地図の一番大きな縮尺図面を用いる。
- ④ 遺構、遺物の有無を確認し、それを記録する。
- ⑤ 遺跡全体の遠景写真、発掘状況の記録写真をとる。
- ⑥ その他、遺跡の立地条件にしたがって適当な調査を実施する。

6. 報告書

報告書は別紙様式にしたがって作成する。

7. 報告書作成期間

昭和54年11月30日まで完成

III. 調査の結果

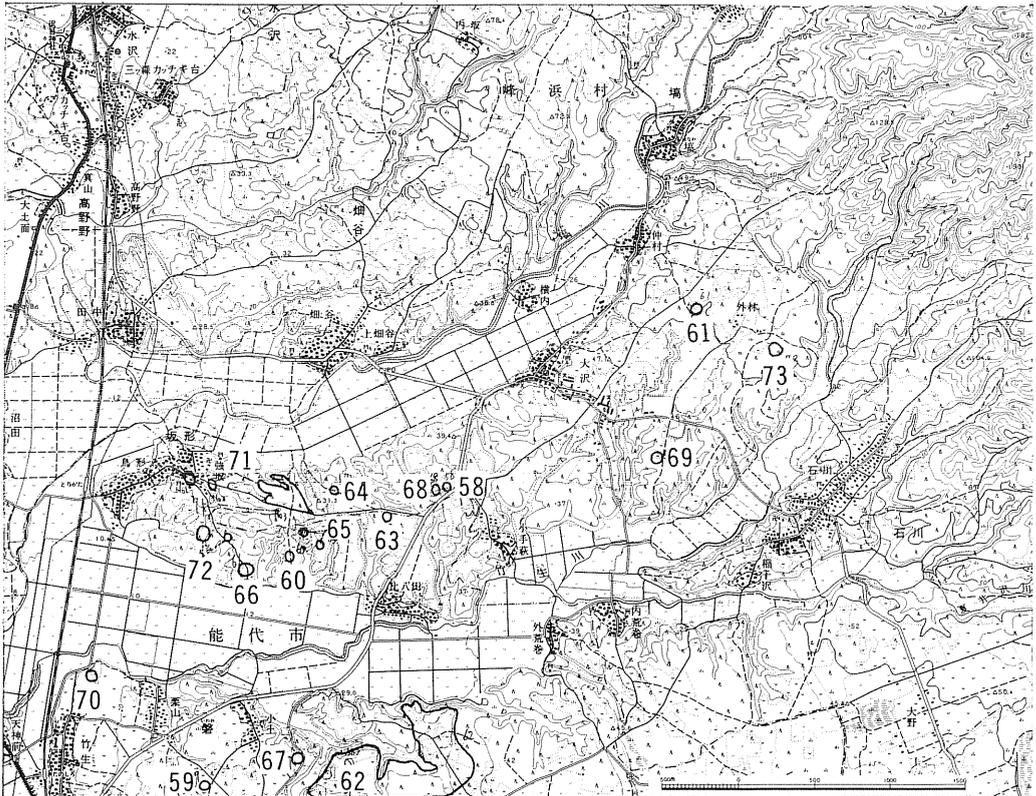
1. 能代開拓建設事業区域内遺跡一覧

No.	遺跡名	種別	所在地	公・民 民有地	出土品	時代	現況	備考
1	腹鞆ノ沢Ⅰ	遺物包含地	能代市能代町字賊ノ沢18-21~18-78, 他18番地(所有者)能代市	公有地 民有地	縄文土器片(後期), 石匙	縄文	林地・草地	
2	"Ⅱ	"	" " " " 18-2~18-73, 他, 18番地(所有者)能代市	"	縄文土器片, 石器(トランシェ様), 土師器片	縄文・古代	林地	
3	"Ⅲ	"	" " " " 18-45~18-46~18-47 18番地(所有者)能代市, 藤田正夫, 藤田祐三	"	縄文土器片, 土師器片	"	畑地・山林 境内地(金 刀比羅神 社)	
4	小友Ⅰ	"	" 中沢字小友139番地, 142番地(所有者)長岡佐一郎	民有地	縄文土器片, 石匙, 石器(搔器)	縄文	畑地, 田	
5	"Ⅱ	"	" " " " 65番地, 66番地, 74番地, 128番地, 130番地	"	土師器片, 須恵器片, 鉄滓	古代	畑地・林地	
6	"Ⅲ	"	" " " " 87番地, 89番地, 90番地, 91番地, 他	"	縄文土器片, 石器, 土師器片, 須恵器片, 鉄滓	縄文・古代	畑地・水田 林地	
7	"Ⅳ	"	" " " " 17番地, 22番地, 他	"	土師器片, 須恵器片	古代	畑地	
8	"Ⅴ	"	" " " " 134番地, 135番地(所有者)中沢・鈴木信一, 小友・長岡佐一郎	"	石器片	縄文・古代	畑地	
9	"Ⅵ	"	" " " " 44の1, 44の3, 35番地, 47番地, 他	"	縄文土器片, 石匙, 石器(搔器), 石錘, 土師器片	"	畑地・水田 林地	
10	蟻ノ台Ⅴ		" 中沢字蟻ノ台140の2, 140の3(所有者)長岡博, 渡辺広	"	縄文土器片, 石器片, 石匙, 石器(搔器)	縄文	畑地	
11	"Ⅵ	遺物包含地	" " " " 98番地, 140番地(所有者)小野トミエ, 渡辺イサオ	民有地	石器片	縄文	畑地	
12	"Ⅷ二区							
13	"Ⅳ	遺物包含地	能代市中沢字蟻ノ台4番地, 6番地(所有者)小沼忠蔵, 安宅弥一郎, 他	民有地	縄文土器片, 石匙, 石器片, 石鏃	縄文	畑地	
14	九郎左エ門台	"	" 浅内字九郎左エ門台1の45, 1の46, 1の47(所有者)能代市, 小野龍蔵, 他	"	土師器片	古代	畑地・林地 草地	
15	蟻ノ台Ⅶ	"			縄文			
16	"Ⅲ	"	能代市中沢字蟻ノ台1の37(所有者)田口キクエ, 田口政雄	民有地	縄文土器片, 土器片, 石匙(黒曜石)	縄文	畑地・水田	
17	梯ノ台	"	" 字梯ノ台4番地	"	石匙	"	畑地・林地	
18	蟻ノ台Ⅷ	"	"		縄文	"		
19	"Ⅰ(割道)	遺物包含地	能代市中沢字蟻ノ台1の53, 1の63, 1の70, 他(所有者)信太春雄, 他	公有地 民有地	縄文土器片, 石器片	縄文	畑地・田地 広域農道	
20	"Ⅱ	"	" " " " 1の63, 1の70, 1の58	民有地	縄文土器片, 石器片	縄文	畑地・水田	
21	割道Ⅱ	"	山本郡山本町志戸橋字割道507, 509, 510, 511番地	"	縄文土器片	"	畑地・水田 宅地	
22	大台野	"	能代市大森字大台野22番地, 他	"	縄文土器片	"	畑地, 水田	
23	割道Ⅰ	"	山本郡山本町志戸橋字割道211, 344~350	"	縄文土器片, 石器	"	水田	
24	大首崎	"	山 " 豊岡金田字大首崎15の2, 14の9 " " 字石持43の1	"	縄文土器片	"	山林・畑地	
25	大下	"	" 志戸橋字大下58の1, 59の1 " " 字草刈長根1の48, 1の56	"	縄文土器片, 石錘	"	水田, 畑地	
26	霜谷地	"	" " 字霜谷地1の43, 41, 24, 1の42, 23, 25	"	縄文土器片, 石鏃	"	水田・林地	
27	相染	"	" 豊岡金田字石持23の4, 8, 3, 9, 26番, 50の4, 49の9, 50の3	"	縄文土器片(中期), 石器片	"	畑地・水田	
28	根岸Ⅱ	"	" " " " 字根岸	"	縄文土器片, 土師器片 須恵器片	"	水田・畑地 山林	
29	"Ⅰ	"	"		土師, 須恵	古代		
30	乗越	遺物包含地	" 外岡字乗越74番地他 " 豊岡金田字根岸66番42~66番64他	民有地	縄文土器片, 石匙, 三角石器, 土師器片	縄文・古代	畑地・水田 林地	

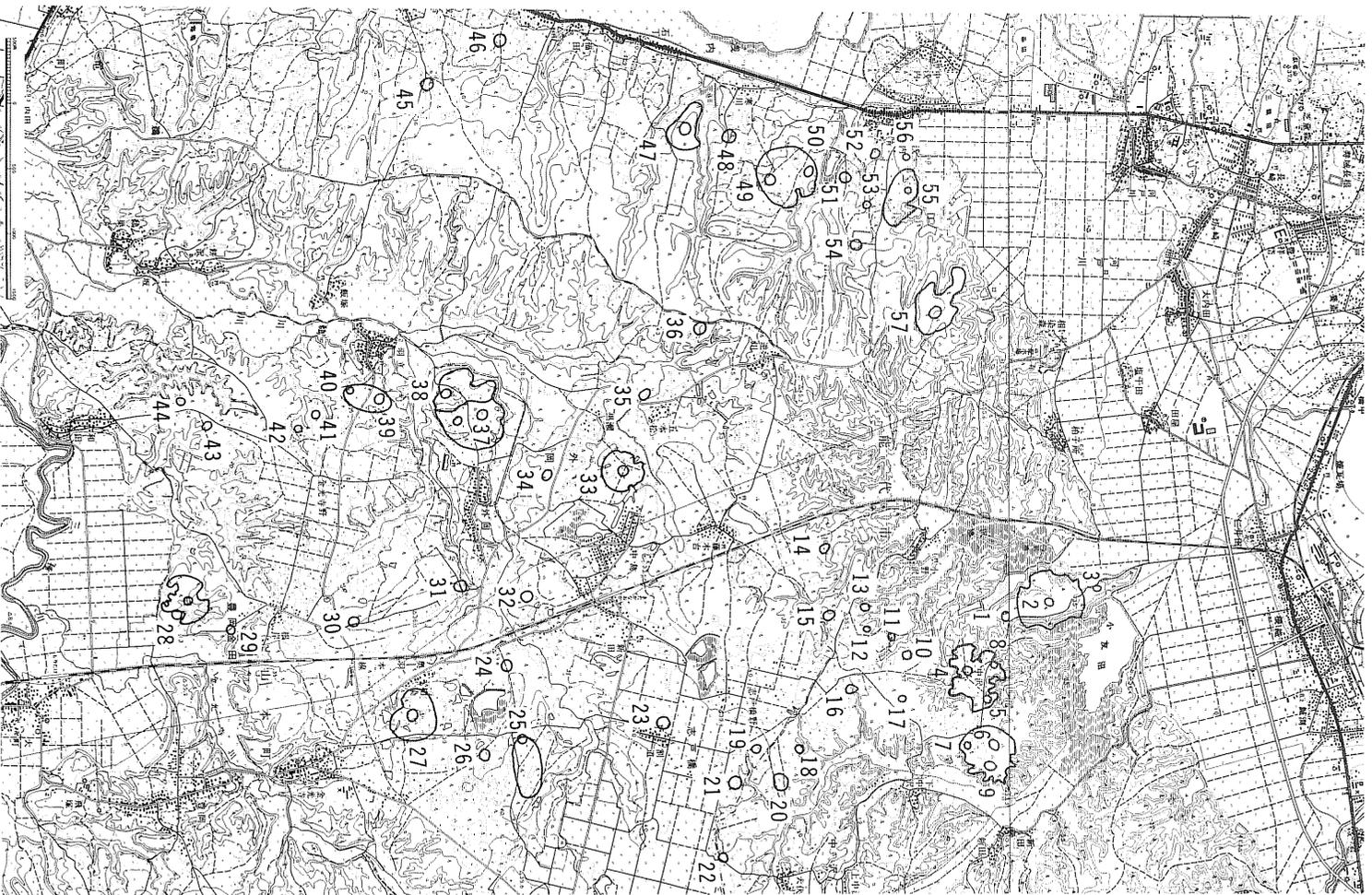
No	遺跡名	種別	所在地	公・民	出土品	時代	現況	備考
31	長峯台	遺物包含地	山本郡山本町外岡字長峯台38番5, 他	民有地	縄文土器片(中期)		畑地・原野 水田	
32	志戸橋境	"	" 志戸橋字志戸橋境16番3, 16番6 外岡字丸内73番, 74番, 48番, 他 伊勢誠一郎	"	縄文土器片, 石鏃	縄文	宅地・林地 草地	
33	中島	"	" 字中島136番8, 136-9, 136-10, 136-13, 他(所有者)伊勢誠一郎	"	石器片, 土師器片, 石器 (トランシェ様)		畑地	
34	黒瀬	"	" 字黒瀬74番地, 77番地, 78番 地, 他 " 字根岸道ノ下4番地, 5番地, 他	"	縄文土器片	縄文	水田・畑地	
35	五本松	"	" 字渡道235番地, 229, 230, 227, 228, 245, 188, 他	"	縄文土器片(中期), 石器, 石匙, 石鏃	縄文	水田	
36	逆川	"	" 逆川	"	縄文土器片	"	畑地	
37	外岡	"	" 外岡字長者屋敷128番地, 142, 144, 145, 146, 165, 166, 138-1, 140, 147, 156, 他 " 字窪ノ沢74番地, 72, 76, 80 89-2, 94, 95-1, 95-2, 96, 98, 100	"	土師器(糸切り)片	古代	畑地・水田	
38	窪ノ沢 (外岡)	"	" 字窪ノ沢 146番地, 145, 167, 149, 148, 他	"	土師器片	"	畑地・山林	
39	保竜Ⅰ	"	" 豊岡字保竜101番1, 117, 115, 125-1, 173, 116, 118, 120-1, 172, 他	"	土師器片	"	畑地・水田	
40	保竜Ⅱ	"	" 金田字保竜	"	土師器片	"	畑地, 水田 林地	
41	保竜Ⅲ	"	"	"	土師	"		
42	保竜Ⅳ	"	"	"	土師	"		
43	和田Ⅰ	遺物包含地	山本郡山本町豊岡金田字駒ヶ崎	民有地	縄文土器片(中期), 石器	縄文	山林・水田 畑地	
44	和田Ⅱ	"	"	"	縄文土器片(中期), 石器	縄文	山林・水田 畑地	
45	成合	"	能代市浅内字成合 42, 150, 149, 152, 他	"	土師器片, 須惠器片	古代	畑地・山林	
46	頭無上	"	" 字頭無上87番地, 89-1, 120, 122, 125, 126, 88-1, 90, 91-2, 124-1, 124-2, 他	"	土師器片, 須惠器片	"		
47	十二林	"	" 字十二林	"	土師器, 須惠器	平安・鎌倉	山林・畑地 田地	
48	寒川	"	" 字寒川家上40番地, 44-1, 116, 118, 120, 43, 45, 117, 119, 他	"	土師器片, 須惠器片	古代	畑地	
49	清水上	"	" 字清水上195番地, 170, 173, 他	"	縄文土器片, 石器片, 土師器片	縄文・古代	畑地・草地	
50	横長根	"	" 字横長根7番1, 8番地, 他	民有地	縄文土器片, 石器片	縄文	畑地・水田 山林	
51	ムサ岱	"	" 字ムサ岱56番地, 59番1, 60番地, 64番地5	"	土師器, 土師器片, 須 惠器, 須惠器片	古代	水田・林地 畑地	
52	上の山Ⅰ	"	" 字上の山26番地, 154, 157, 158, 150, 155, 159, 30番地, 34, 35, 36, 37	"	縄文土器片, 土師器片, 須惠器片	縄文・古代	畑地	
53	上の山Ⅱ	"	" 133番地, 139, 141, 70, 70-2, 106, 107, 123, 136, 140, 104, 114, 他	"	縄文土器片, 土師器片, 須惠器片	"	畑地	
54	上の山Ⅲ	"	"	"				
55	此掛沢Ⅰ	遺物包含地	能代市浅内字此掛沢75番地, 77番地, 81, 87, 90, 91, 76番地, 80, 83, 88, 70, 92	民有地	縄文土器片, 石鏃, 土 師器, 須惠器片	縄文・古代	畑地	
56	此掛沢Ⅱ	"	" 119番地, 120-2, 121-2, 122, 124番地, 120番1, 121-1, 121-3, 123	"	土師器片, 縄文土器片, 石鏃, 須惠器片	"	畑地	
57	船沢	"	" 5番2, 5-4, 20-1, 20-4, 20-6, 28-6, 5番3, 6, 20-2, 20-3, 20-5, 他	"				遺跡らし い。
58	向谷地	"	山本郡峰浜村畑谷字向谷地38の52, 38の53	民有地	縄文土器, 土師器片, 須惠器片	縄文・平安 鎌倉	林地	
59	後野	"	能代市磐字後野	"	土師器片, 須惠器片, 鉄滓	平安	畑地	
60	重兵工台	"	" 坂形字重兵工台10の8, 1の45	"	土師器片, 須惠器片	平安	畑地	
61	外形 ヶ沢	"	山本郡峰浜村石川字外形150, 151, 外	"	石匙, 石鏃, 縄文土器 片(前期)	縄文	畑地	

No.	遺跡名	種別	所在地	公・民	出土品	時代	現況	備考
62	金ヶ沢	遺物包含地	能代市比八田字金ヶ沢1の4, 1の5, 1の6, 1の115, 1の12, 1の83, 1の97, 1の98, 1の91, 1の70, 1の71, 1の72, 1の118 能代市比八田金ヶ台1の68, 1の71, 1の69, 1の70	民有地	縄文土器石器片, 土師器片, 杯, 土師器窯, 木炭, 須恵器片, 石鏝, 貝化石	縄文・平安鎌倉	畑地・田地 山林	
63	相染台	"	字相染台49	"	縄文土器片, 打製石斧(頁岩製), 土師器片, 須恵器片	縄文・平安鎌倉	畑地	
64	中田面	"	山本郡峰浜村坂形字中田面136の1～136の33, 外	"	土師器片, 須恵器, 青磁(南宋から元初期)	平安・鎌倉	畑地・草地 山林	
65	重兵工台(1)	"	能代市坂形字重兵工台10の46	"	縄文土器片	縄文	畑地	
66	蟹ヶ台	"	字蟹ヶ台142～150	"	土師器片, 須恵器片	平安	畑地・山林	
67	杉沢台	"	能代市磐字杉沢台15の12, 外	"	縄文土器片(前期, 晩期), 石鏝, 石匙, 石斧,	縄文	畑地	
68	神祇林	"	山本郡峰浜村小手萩字神祇林103の21, 103の22, 103の19, 神祇台33, 36	"	縄文土器片, 土師器, 須恵器	縄文・平安鎌倉	畑地・草地	
69	外林(田)	"	石川字外林	"	縄文土器片	縄文	畑地・林地 草地	
70	竹生	"	能代市竹生字竹生1, 2, 3, 4, 5, 6	"	土師器片, 須恵器片, 鉄滓, 鉄片	平安・鎌倉	畑地・田地 山林	
71	強坂	"	山本郡峰浜村坂形字強坂98の1, 217, 99の1, 205	"	石器片, 縄文土器片, 須恵器	縄文・平安		
72	根洗場	"	能代市坂形字根洗場35, 36, 83, 84, 85, 86	"	縄文土器片, 石鏝, 石匙, 石斧, 石鏝	縄文		
73	内林	"	山本郡峰浜村石川字内林59, 118, 外	"	須恵器, 古銭	鎌倉	草地及び 山林	

能代開拓建設事業区域内遺跡分布図 2



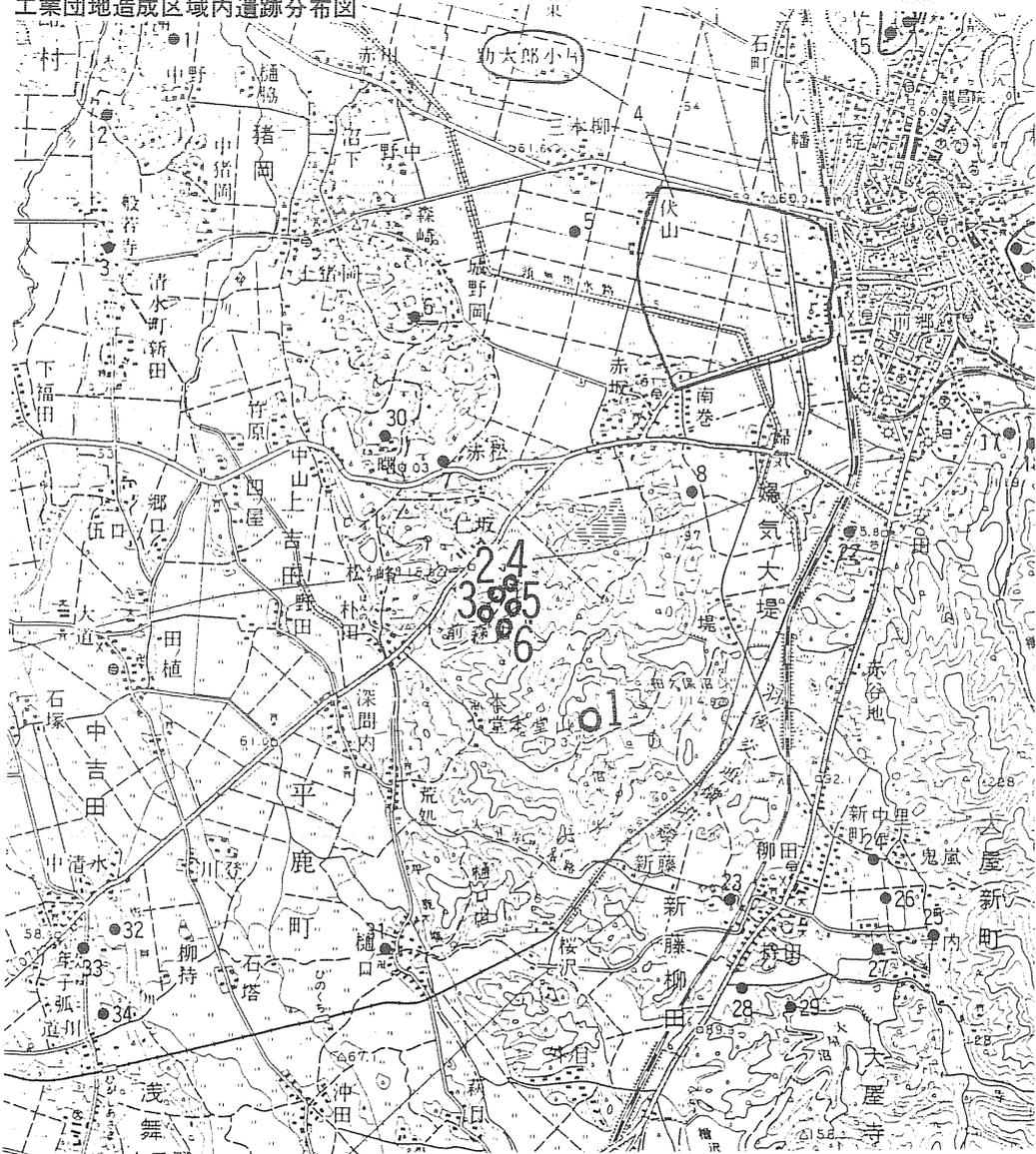
能代開拓建設事業区域内遺跡分布図 1



2. 工業団地造成区域内遺跡一覧

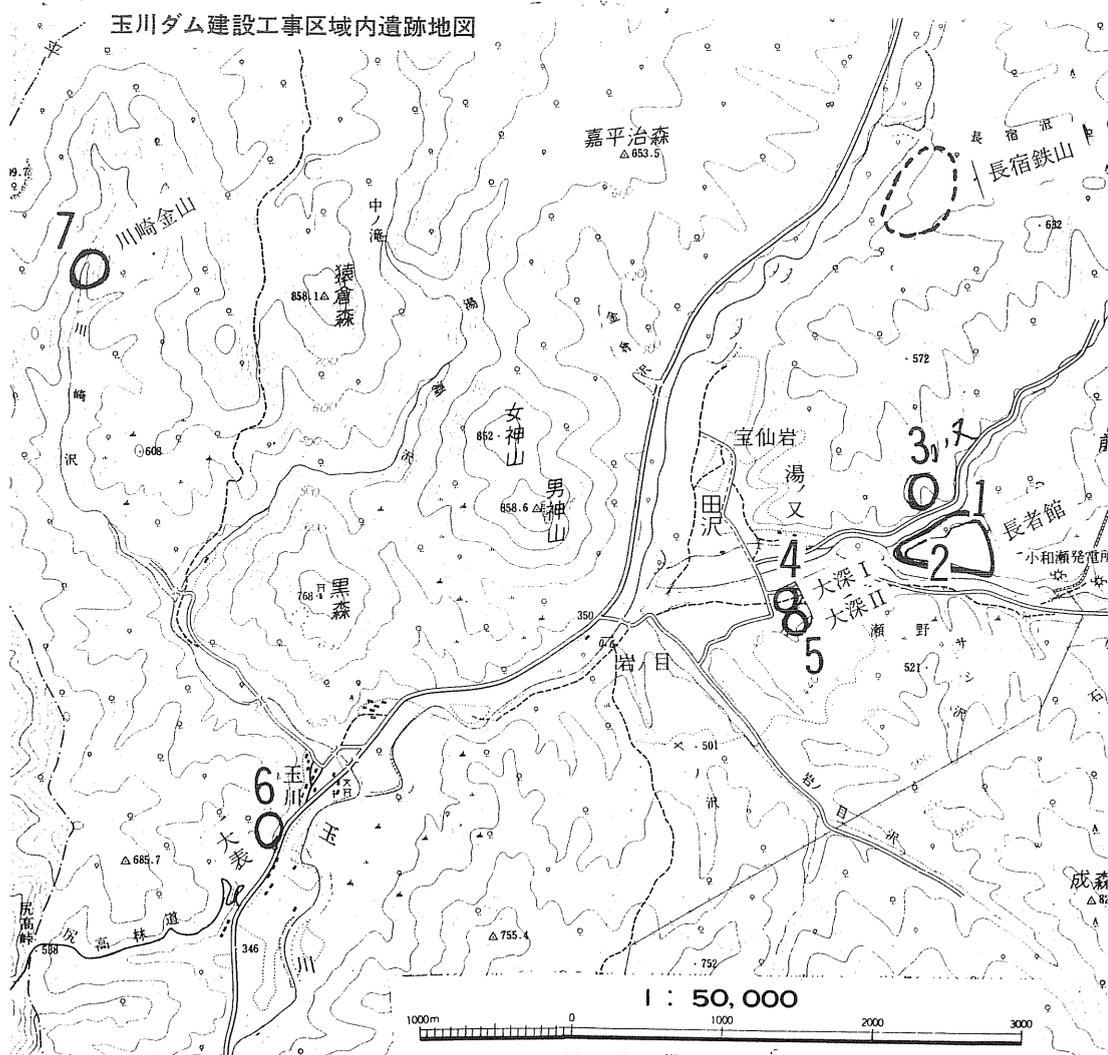
No	遺跡名	種別	所在地	公・民	出土品	時代	現況	備考
1	大沼入	遺物包含地	平鹿郡平鹿町醍醐字大沼24の4	民有地	土師器、須恵器片	古代	畑地	
2	西ヶ沢前森	"	" 字西ヶ沢前森	"	須恵器片	"	果樹園	登窯跡?
3	西ヶ沢	"	" " 60	"	須恵器、土師器片	"	山林・畑地	
4	西ヶ沢山I	"	" 字西ヶ沢山1の2	"	須恵器片	"	草地・山林	
5	西ヶ沢山II	"	" " 1	"	須恵器片	"	草地	登窯跡?
6	西ヶ沢山III	"	" " "	"	須恵器片	"	草地・山林	

工業団地造成区域内遺跡分布図



3. 玉川ダム建設工事区域内遺跡一覧

No.	遺跡名	種別	所在地	公・民	出土品	時代	現況	備考
1	長者館Ⅰ	館跡	仙北郡田沢湖町田沢字湯ノ又	民有地		中世	山林	
2	長者館Ⅱ	集落跡	" "	公有地	土師器, フイゴ羽口	古代	山林	凹地が竪穴住居?
3	湯ノ又	建物跡	" "	"	礎石5個	中世?	水田	破壊されている
4	大深Ⅰ	住居跡?	" 字大深	"	鉄さい, カマド?	古代	原野	
5	大深Ⅱ	遺物包含地	" "	"	縄文土器片(中期)	縄文	畑地・水田	
6	大表	館跡	" "	"		中世	原野	
7	川崎金山跡	鉱山跡	" "	"		近世	山林	
8	長宿鉄山跡	"	" "	"		"	山林	



4. 秋田湾地区開発区域内遺跡一覧

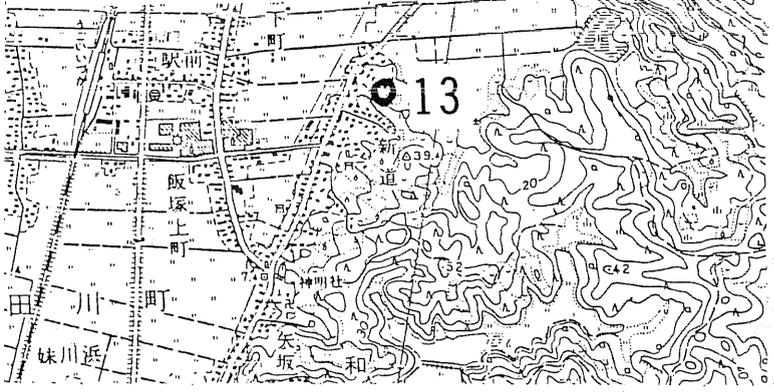
No	遺跡名	種別	所在地	公・民	出土品	時、代	現況	備考
1	首の沢	遺物包含地	男鹿市脇本浦田字坂の上	民有地	縄文土器片, 石剣(一部), 石鏃, 石匙, 赤褐色土器片(杯・口縁部)	縄文・平安	畑地	
2	坂の上 II	"	" "	"	縄文土器片(前期), 石器	縄文	"	
3	鷺ノ沢	"	" 五里合鮎川字鷺ノ沢	"	縄文土器片, 黒曜石	"	"	
4	馬場台	"	" " 字馬場台～字鮎川	"	縄文土器片, 黒曜石	"	"	
5	岡見沢 I	"	南秋田郡若美町角間崎字岡見沢31	"	縄文土器片(中期・円筒上層), 土師器片(瓶, その他)	縄文・平安	山林	
6	岡見沢 II	"	" " " " 39の1 " " 鶴木字鶴木165の1	"	縄文土器片, 吹浦式か?(前期), 円筒上層(中期)	縄文	スキー場・山林	
7	上台 I	"	" " " " 角間崎字上台20の1	"	縄文土器片, 土師器片(回転糸切り)	縄文・平安	畑地	
8	上台 II	"	" " " " 10 " " " " 26の2	"	縄文土器片, 土師器片(回転糸切り), 須恵器片	"	"	
9	上台 III	"	" " " " 33	"	縄文土器片, 須恵器片(杯・回転糸切り)	"	"	
10	上台 IV	"	" " " " 2の1	"	縄文土器片, 黒曜石, 須恵器片	"	"	
11	中角境 II	"	" " 鶴木字中角境40の1 " " 角間崎字上台	"	縄文土器片, 土師器片, 須恵器片, 石鏃, 土鏃	"	"	
12	中角境 III	"	" " 鶴木字中角境54の1	"	土師器片, 須恵器片(杯・瓶)	平安	"	
13	鳥木沢	"	" 飯塚字鳥木沢	"	縄文土器片	縄文	畑地・果樹園	
14	行内沢 II	"	" 五城目町高崎字行内沢83	"	赤褐色土器片(杯・回転糸切り)	平安	荒地・山林	
15	行内沢 III	"	" " " " 132の1, 173	"	赤褐色土器片(杯), 須恵器片(瓶)	"	水田・平地山林	
16	細長根 I	"	" 天王町天王字細長根		土師器片	"		
17	細長根 II	"	" " " "	民有地	土師器片, 瓶底部	"	松林	

秋田湾地区開発区域内遺跡分布地図 1

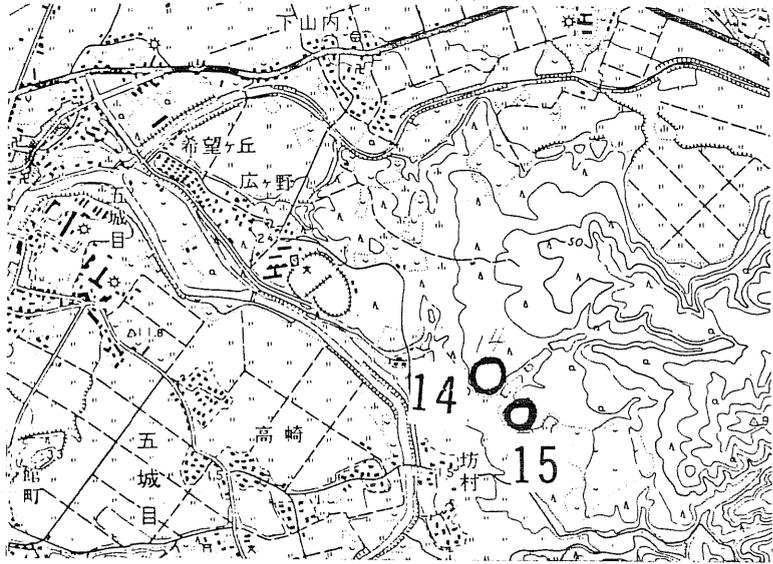


位置図

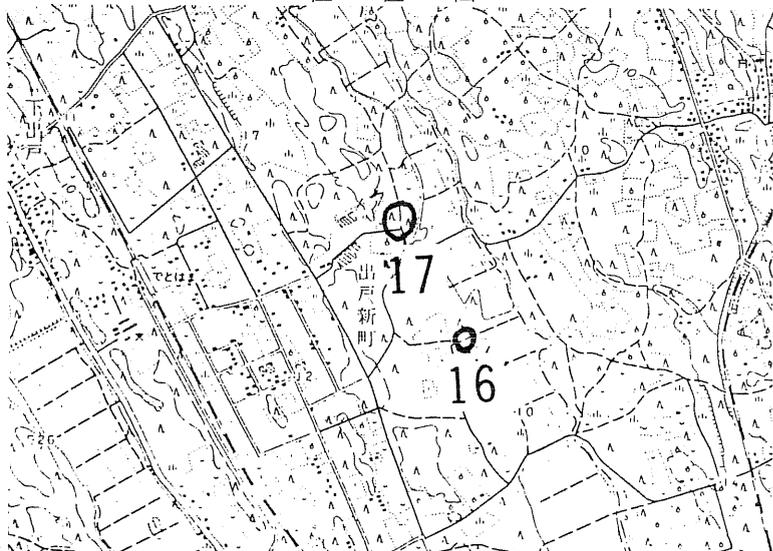
秋田湾地区開発
区域内遺跡分布図 2



位置図



位置図



5. 遺跡範囲確認調査

藤木一本柳谷地遺跡

1. 所在地

大曲市藤木字一本柳谷地

2. 面積

約20,000m²

3. 調査期間

昭和54年10月22日～24日

4. 調査者

船木義勝, 竹村昭雄

5. 遺跡の立地の特徴 (現況)

遺跡は仙北平野の中央に位置し、大曲市藤木と仙南村との境界に接して北流する小さな堰を中心とする部分と東側の畑地が中心であろう。

6. 範囲・時代・性格

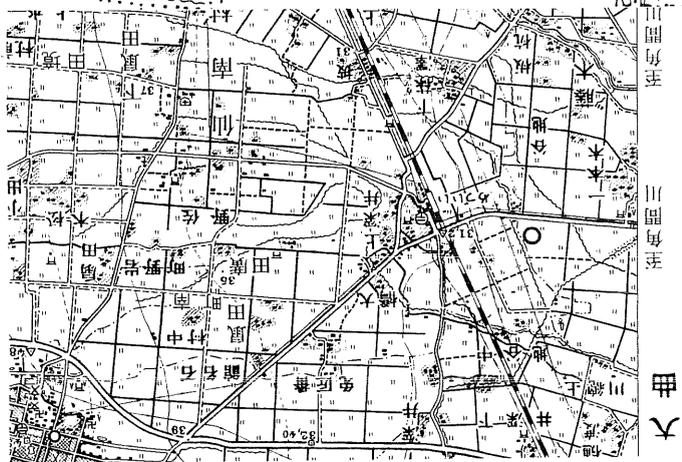
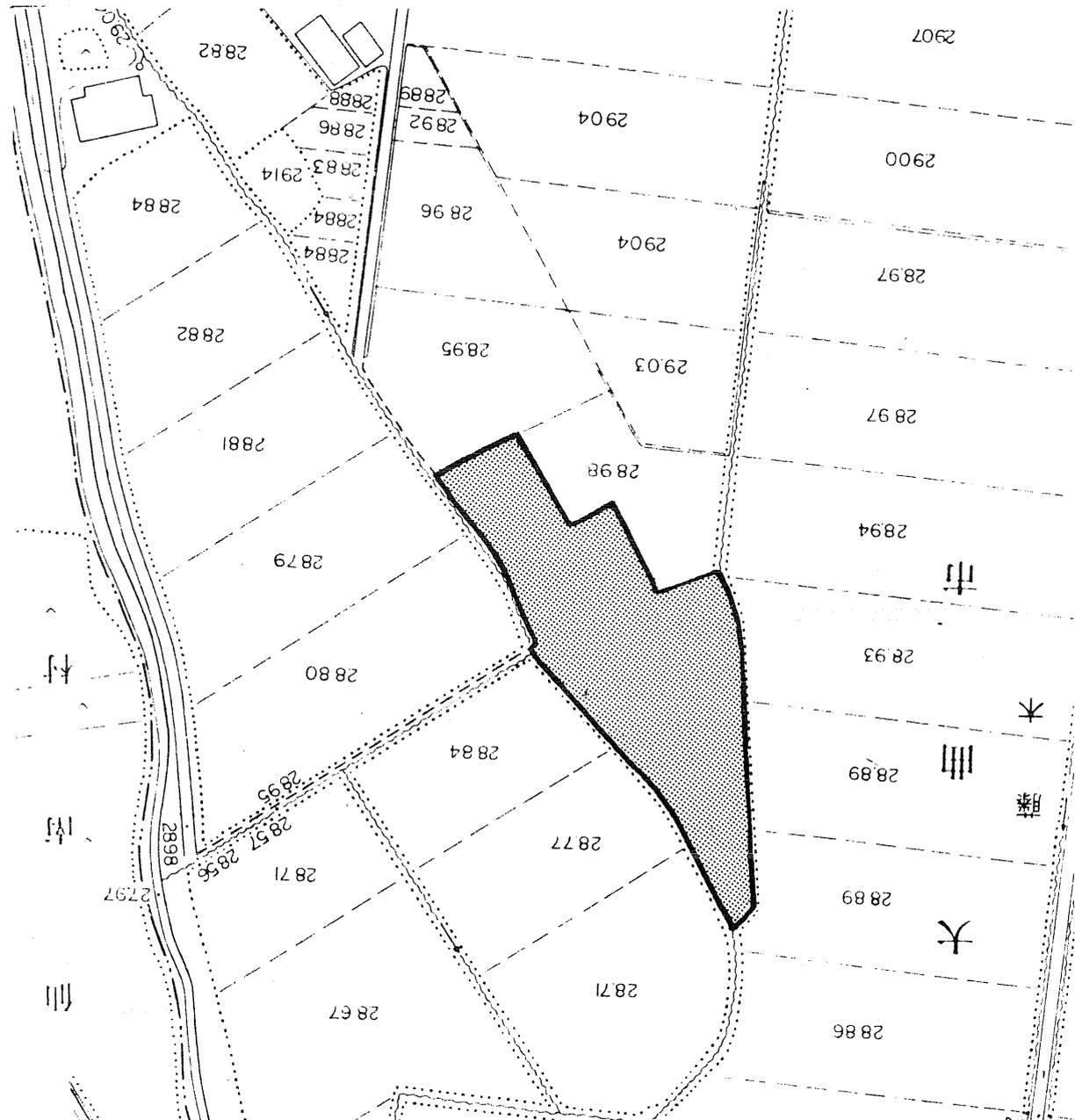
遺物の表面採集や古老の談話からは、かなり広範囲な遺跡であったことを想像させるが、過去3回にわたる耕地整理により破壊され、現地畑地(約1,200 m²)の部分がわずかに残っているだけである。畑地の調査では、溝1条(幅0.3, 長さ3, 深さ0.1m)と土師器・須恵器の包含層を確認した。遺物からは平安時代(9, 10世紀)の遺跡としかとらえられない。

7. 地層(深さ)

現地表面からおよそ0.5～0.6mが遺物包含層である。したがって耕作のため、遺構確認はむずかしく、遺物の包含状態も良好とはいえない。

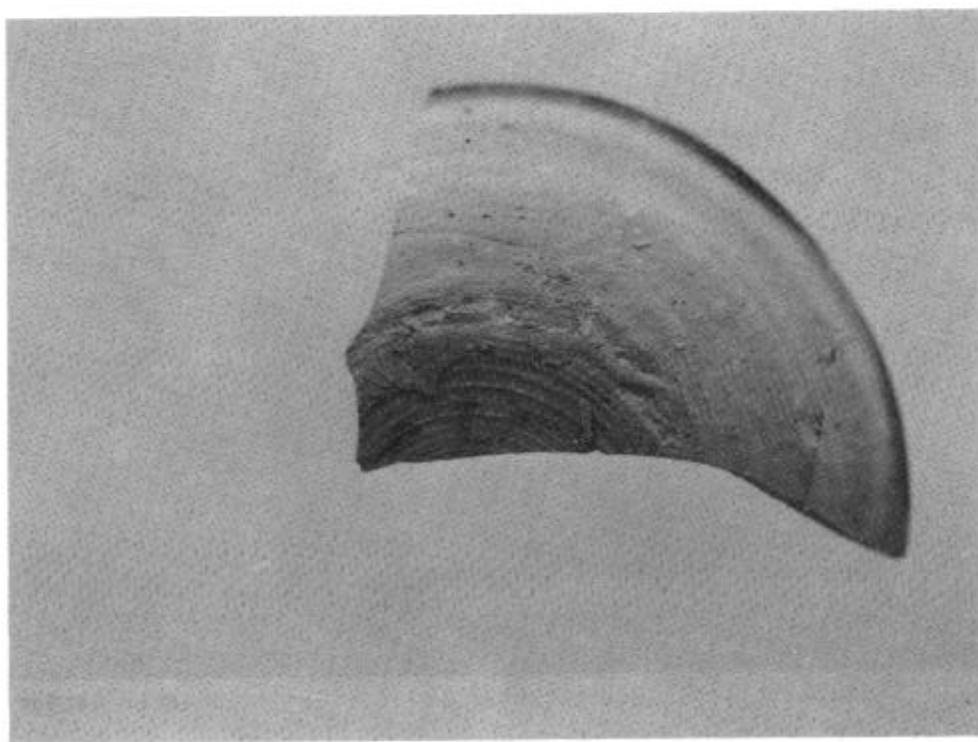
8. その他特記事項

秋田県史編纂主任長井金風氏が、大正元年10月10日付で藤木村長高階秀和氏にあてた「藤木村発掘物調査書」がある。本調査書によれば、①現在の土師器・須恵器である②墨書土器「伴」があり、大伴氏族の遺跡であろうか③糸切り底の土器がある④古墳と外堀が残っているのではないかと述べている。

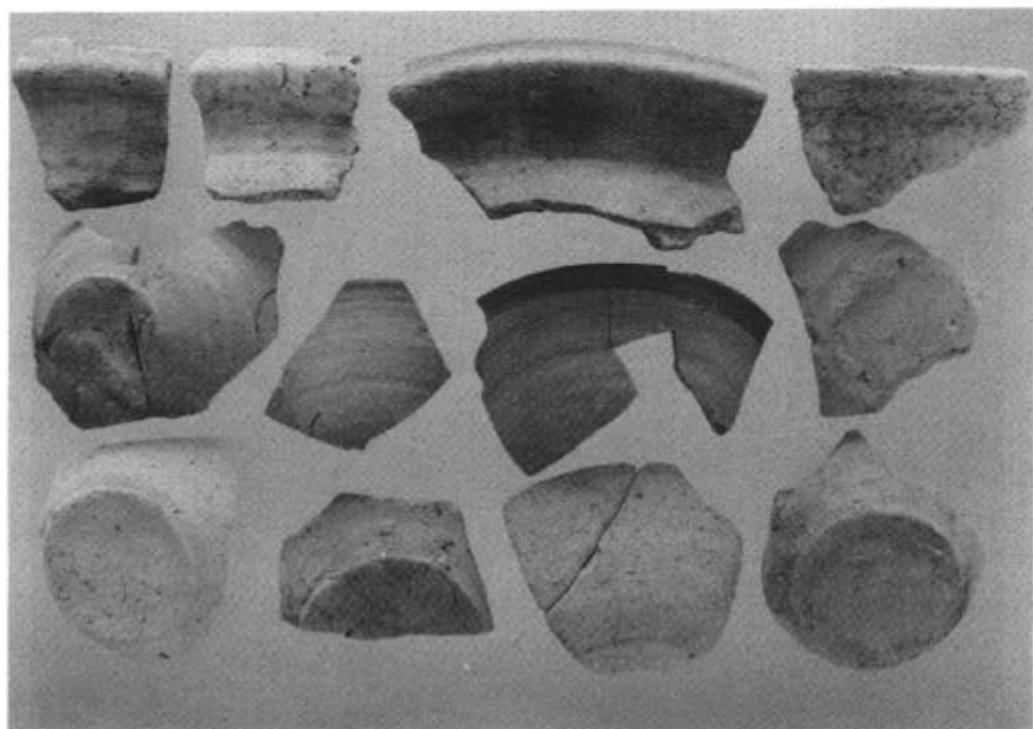
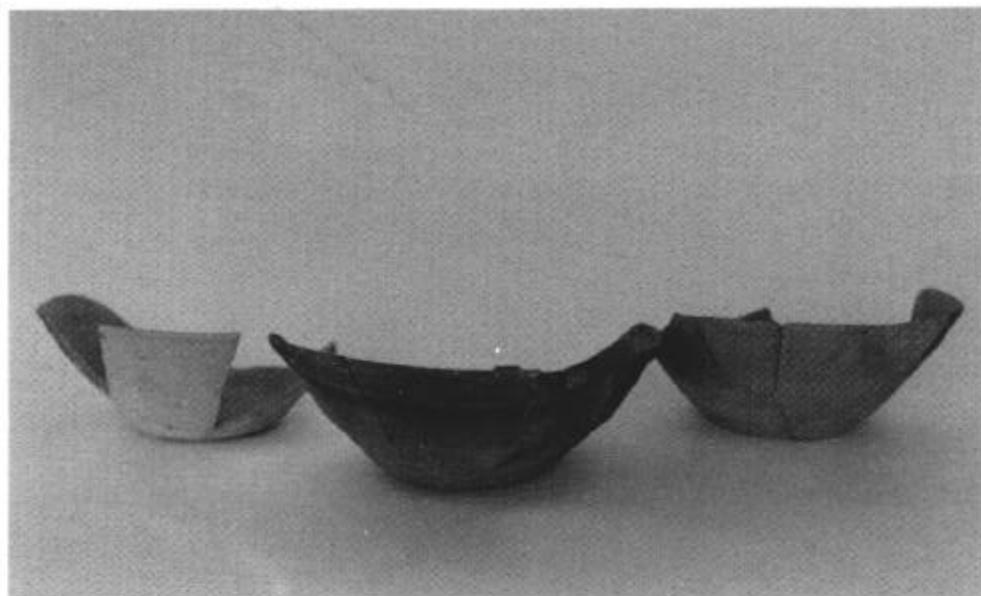


▲範圍圖 (1/1,000)

▲位置圖 (1/50,000)
藤木一本柳谷地遺跡



藤木一本柳谷地遺跡 1



藤木一本柳遺跡 2

桐 木 田 遺 跡

1. 所在地

雄勝郡雄勝町小野字飯塚

2. 面積

約8,800㎡

3. 調査期間

昭和54年10月22日～11月1日

4. 調査者

橋本高史，佐藤和弘，渡部健太郎，高橋浩樹

5. 遺跡の立地の特徴（現況）

遺跡は横手盆地の南端裾部に位置する。現況は水田，一部が畑地である。遺跡の周辺を水路が流れており，堀の名残とも思われる。

6. 範囲・時代・性格

明治初期の現形図によると，桐木田井戸跡を囲んで堀跡が廻っているのがわかる。そこで北東部にトレンチを入れてみたところ，幅約13m，深さ約1.40mの溝が検出された。埋土内からは中世～近世の陶器が出土しておりそのころの遺構と思われる。この堀の内側約8,800㎡が遺跡と思われる。

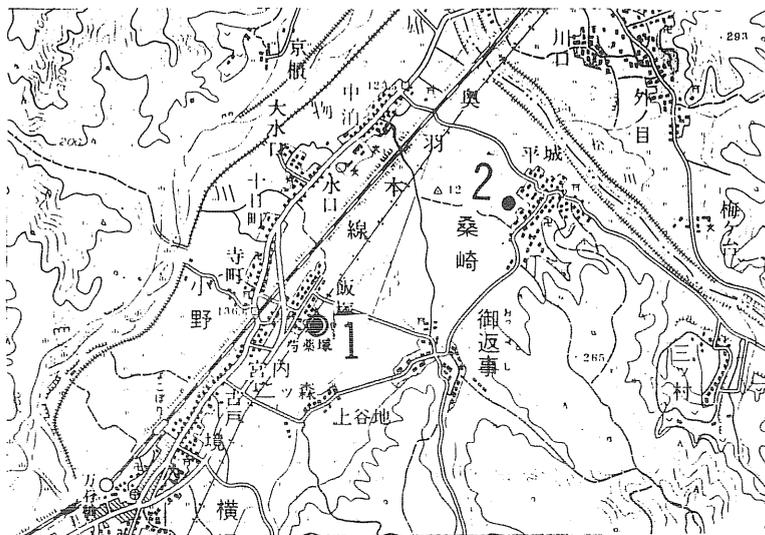
7. 地層（深さ）

堀跡の内側部分は第Ⅰ層耕作土（20cm），第Ⅱ層黒褐色土（15cm）遺物包含層，第Ⅲ層褐色土地山となっており，遺構は第Ⅲ層上面にて検出される。

8. その他特記事項

桐木田井戸跡は昭和47年山本博博士により平安初期のものとして鑑定されているが，その時期の遺物は今回の調査では出土しなかった。江戸時代にこの地に桐田寺があったと伝えられており，また北東にある鶴沼城とも時期が近似しており何らかの関連があったものと思われる。

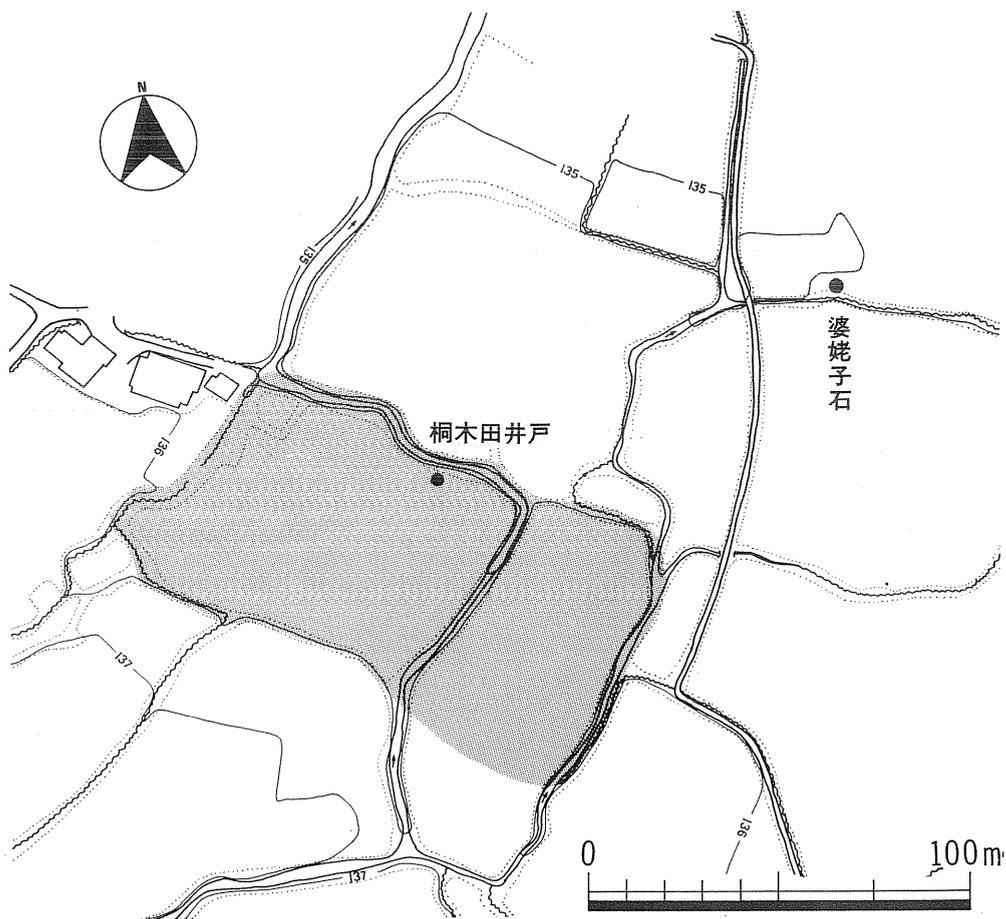
婆娑子石についても調査したが，石のあるごく一部を除いては耕地整理のため破壊されており，遺構も存在しなかった。婆娑子石は梵字とおぼしき字が刻まれているが，風化が激しく読みとることはできなかった。

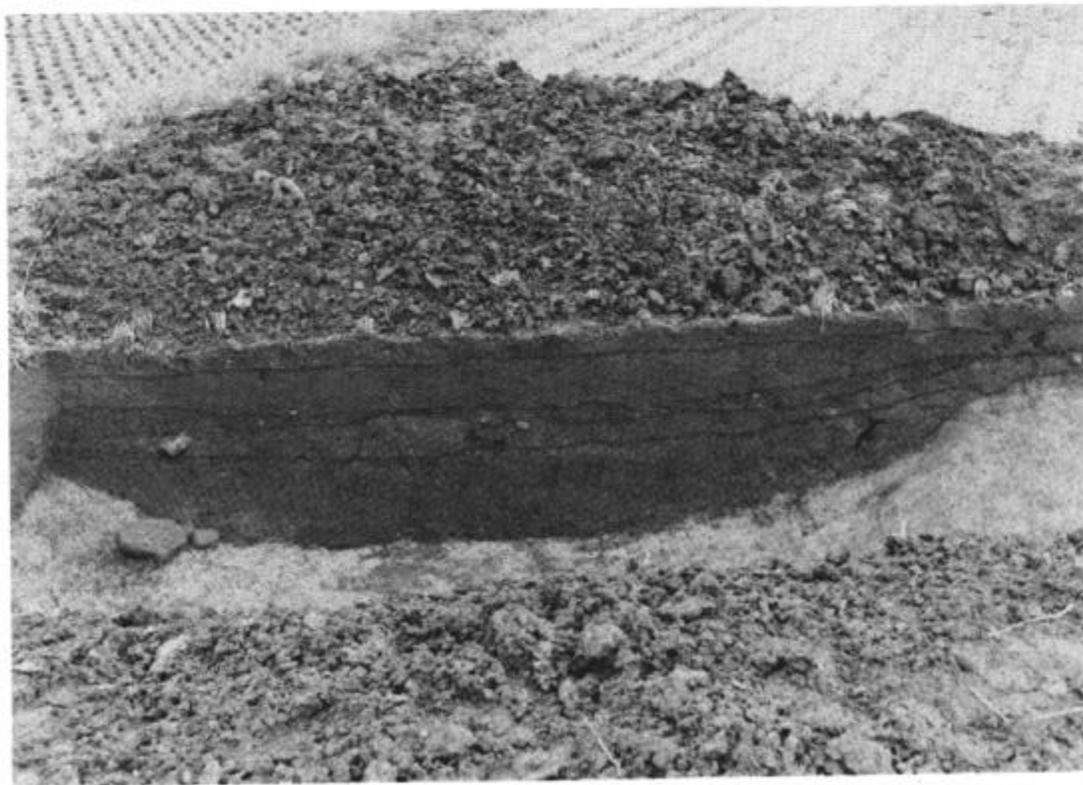


◀位置図 ($\frac{1}{50,000}$)

1. 桐木田井戸跡
婆婁子石
2. 鶴沼城跡

▼範囲図 ($\frac{1}{2,000}$)

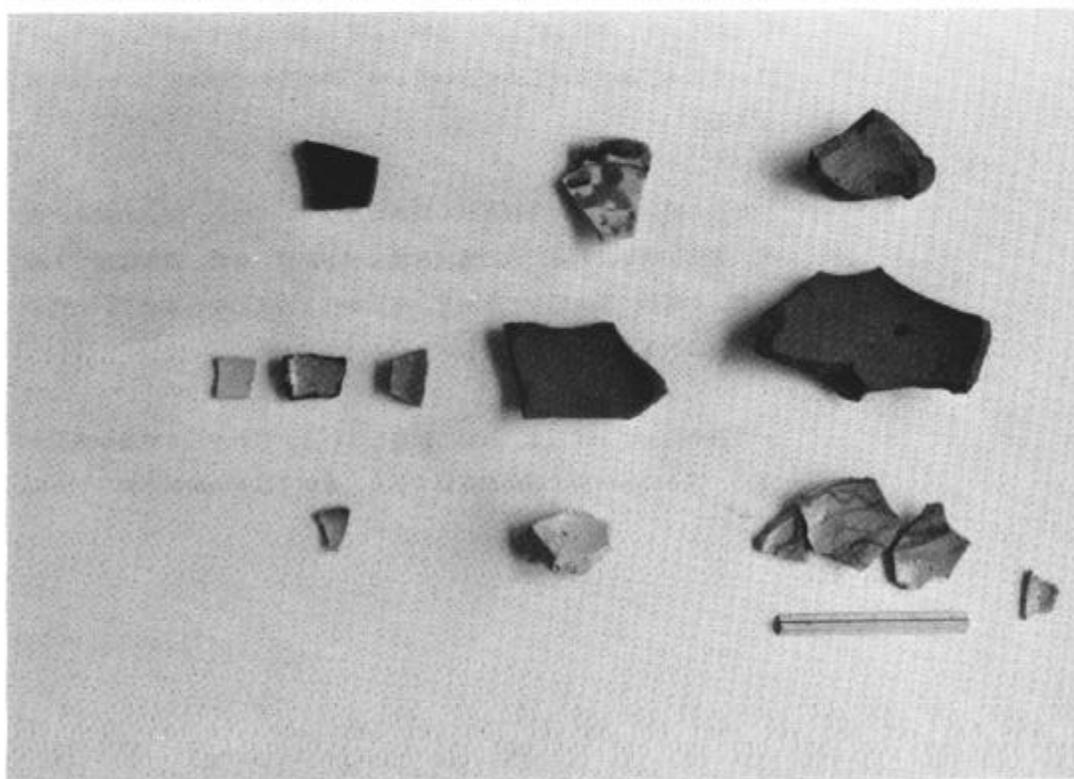




桐木田 1



桐木田 2



桐木田 3

竹 生 遺 跡

1. 所在地

能代市竹生字竹生

2. 面積

約53,000 m²

3. 調査期間

昭和54年10月22日～11月1日

4. 調査者

池田憲和

5. 遺跡の立地と特徴（現況）

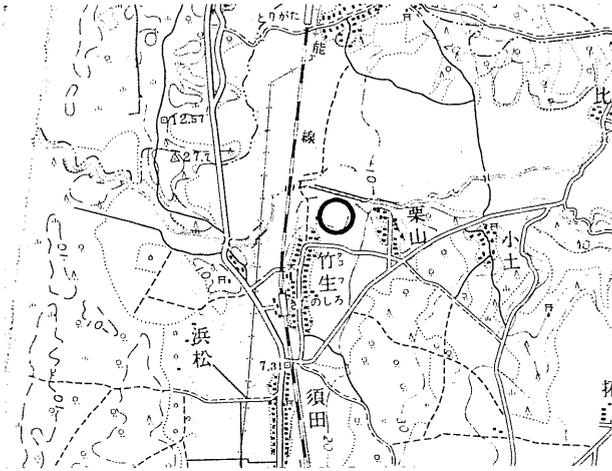
遺跡は米代川の右岸に広がる所謂東雲台地の西北端に位置し、標高14m前後の台地上にある。遺跡の北側に竹生川が西に流れ、遺跡の直ぐ北で南に流れをかえて日本海に注ぐ。遺跡のある台地は竹生川の河岸段丘のようにも見える。現在は段丘崖に近い所が林、他は殆んどが水田で、一部荒地がある。

6. 範囲・時代・性格

遺跡の範囲は北側の段丘崖から南側にのびていて広い。調査の結果、古代の竪穴住居跡10軒余、他に溝状遺構などが確認された。遺物は縄文土器石器、土師器、須恵器などがあり、縄文時代と古代の複合遺跡で、古代の集落跡は大規模なものと考えられる。

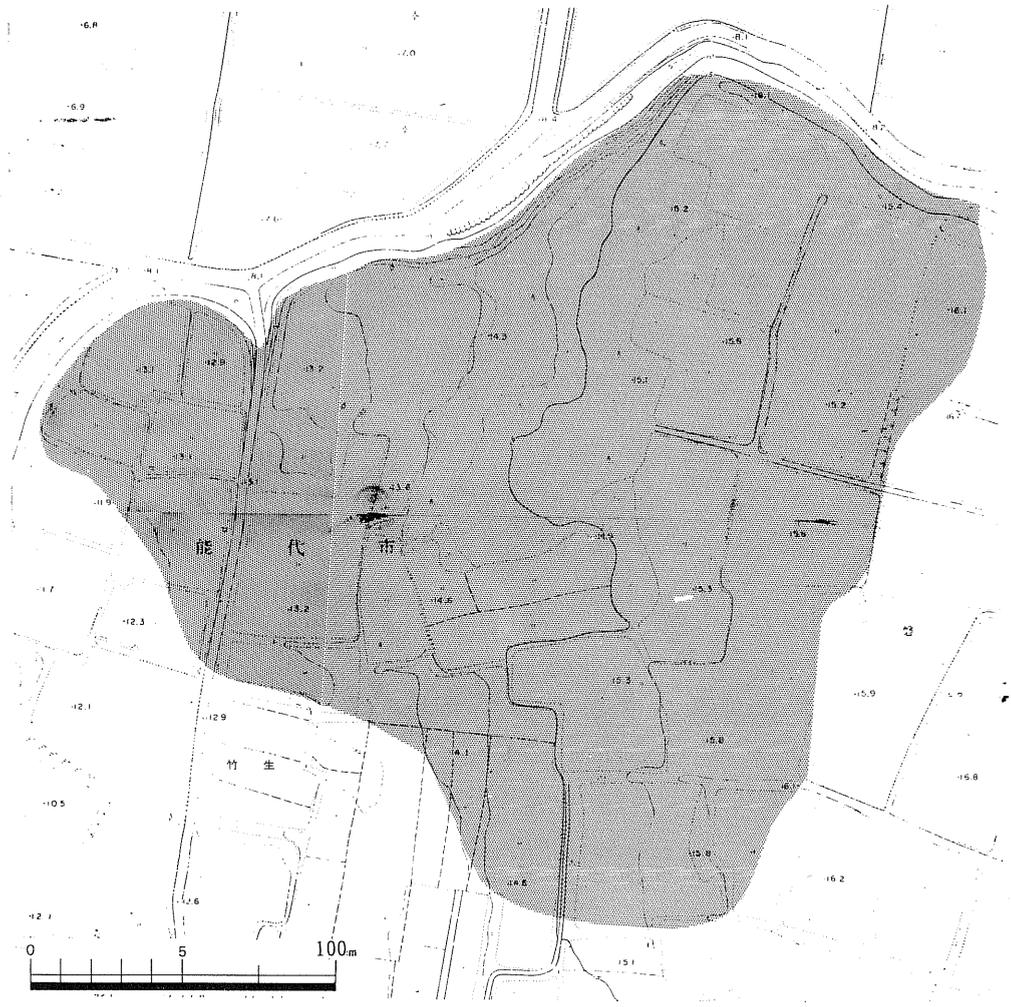
7. 地層（深さ）

遺跡の殆んどが水田で、西側に傾斜している。したがって北側が表土が厚く、深さ60cm前後で遺構が確認できる。東側では30cm前後の深さである。



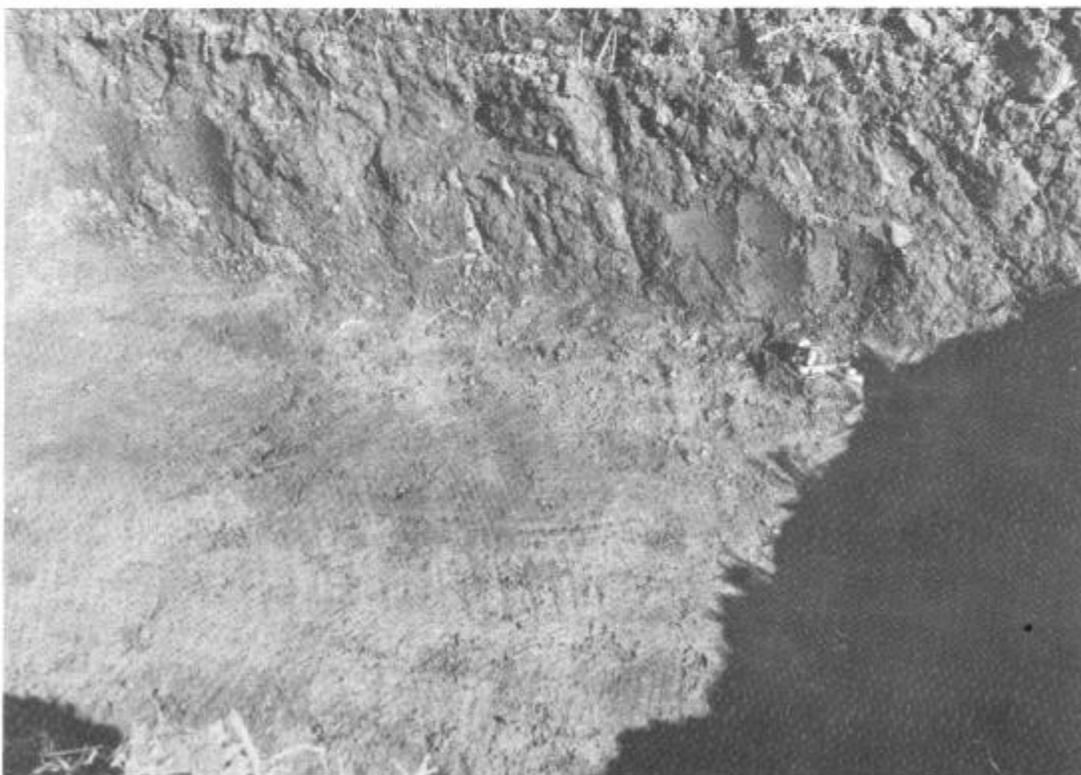
◀ 1. 竹生遺跡
位置図
($S = \frac{1}{50,000}$)

▼ 範囲図





竹生 1



竹生 2

杉 沢 野 遺 跡

1. 所在地

能代市小土字杉沢野

2. 面積

約35,000 m²

3. 調査期間

昭和54年10月22日～11月1日

4. 調査者

畠山憲司

5. 遺跡の立地と特徴（現況）

遺跡は米代川の北側に広がる東雲台地の北端に位置する。東雲台地には小沢が数多く刻み込まれており、舌状の台地が多い。遺跡はこの舌状台地とその基部周辺を占め、比高20m程で、海岸線からは東に3.3kmにある。遺跡は現在、畑地と水田として耕作されている。

6. 範囲・時代・性格

遺物は広範囲に散布するが、調査の結果では台地東北端部とそれから張り出した舌状台地を遺構の伴う遺跡とすることができる。遺構は縄文時代前期の竪穴住居跡・土坑、晩期土坑墓、平安時代頃の竪穴住居跡・溝などであり、遺物もこれに時期を同じくしている。すなわち、本遺跡は縄文時代前期・晩期、平安時代頃の集落跡と考えられる。

7. 地層（深さ）

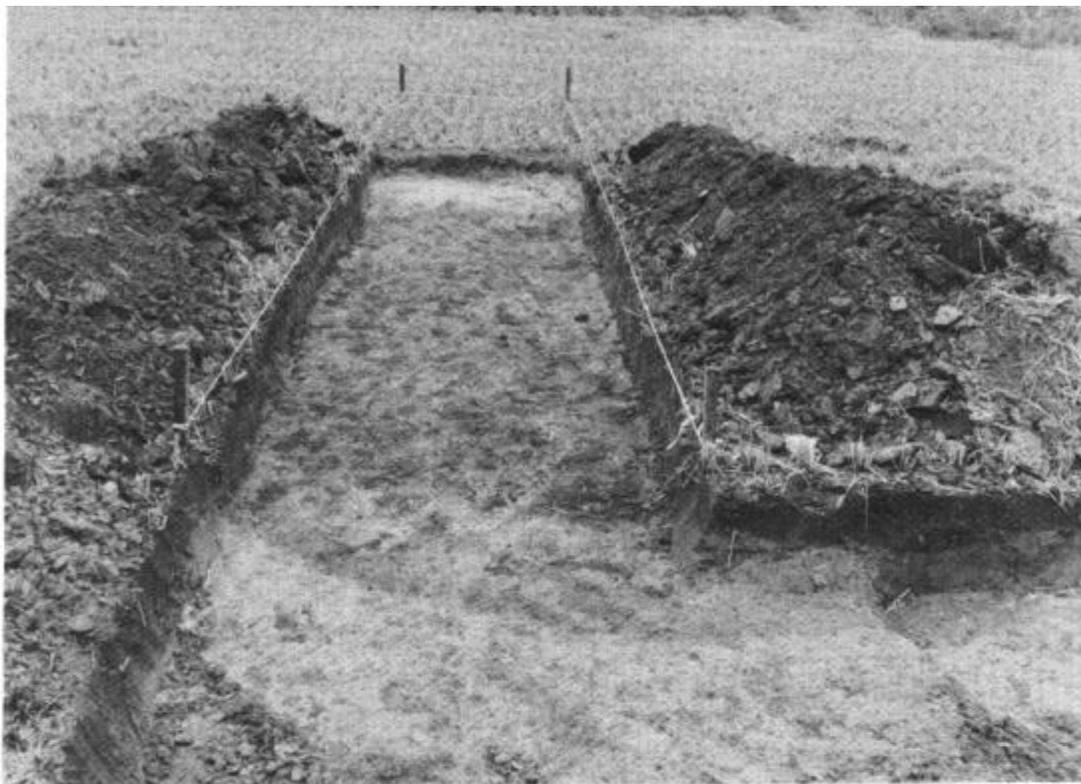
調査した地点により大きな差がある。水田となっている部分は耕地整理等により削平を受けたり、低い部分は大量の土をかぶっていたりしている。畑地は軟かい耕作土及び黒褐色土が0.5～1m程ある部分と、30cm前後で地山に達する部分がある。

8. その他の特記事項

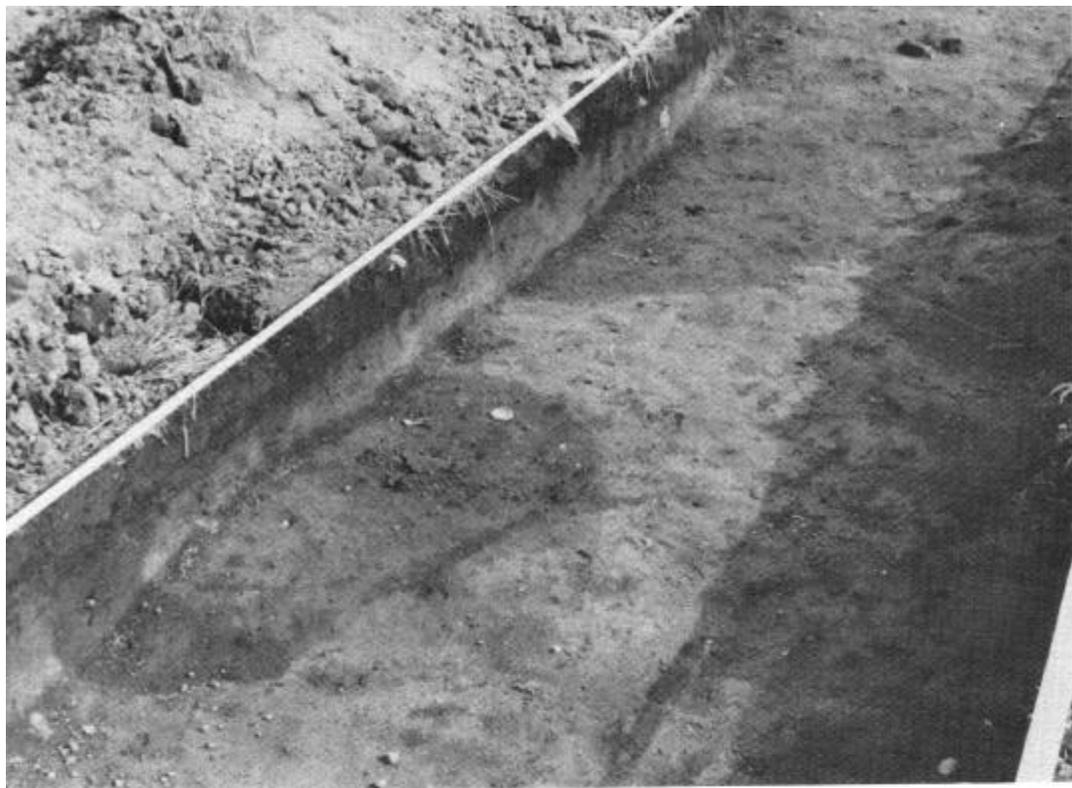
遺跡の中央を南北に走る道路の工事中、多量の縄文土器が出土したという。この部分が土器の捨て場的なところであった可能性がある。遺跡の東側の小沢には水量の多い湧水がある。



杉沢野 1



杉沢野 2



杉沢野 3

街 道 上 遺 跡

1. 所在地

能代市須田字街道上

2. 面積

約 14,000m²

3. 調査期間

昭和54年10月22日～11月1日

4. 調査者

田口 都

5. 遺跡の立地の特徴（現況）

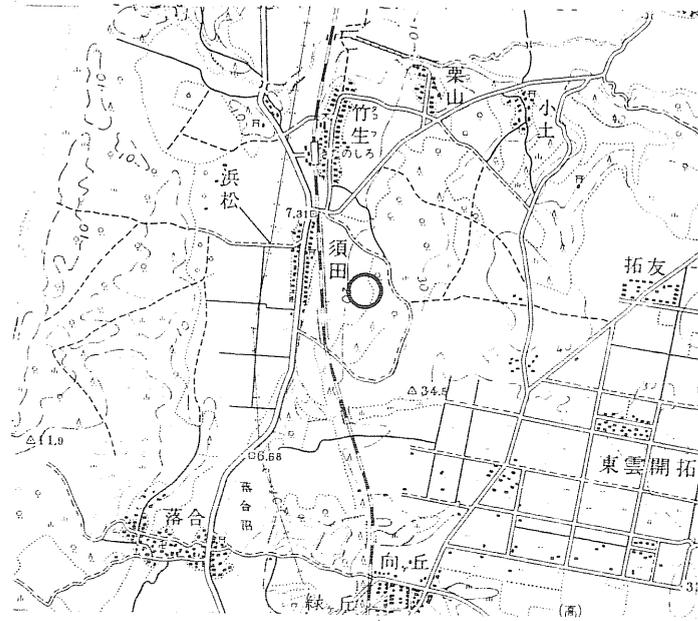
遺跡は東雲台地の先端，標高約20m程の，西にゆるく傾斜する低い台地上に位置する。台地の西側下は，須田部落となっている。現況は，水田と畑地である。

6. 範囲・時代・性格

今回の調査では，住居跡と思われる遺構・土壇・溝状遺構が，土師器・須恵器と伴に検出された。時代は，平安時代前期であろう。なお，耕作のため破壊も激しいが，範囲はもう少し広がる可能性も考えられる。

7. 地層（深さ）

場所によっては，かなり違いがあるが，多くは地山まで50～60cm程あり，耕作土の下に，暗褐色土層・黒褐色土層と続き，さらに褐色土層が薄く堆積している所もある。又，暗褐色土層と黒褐色土層との間に，炭化物の層が薄くみられることもあり，遺物は主に黒褐色土層から出土している。

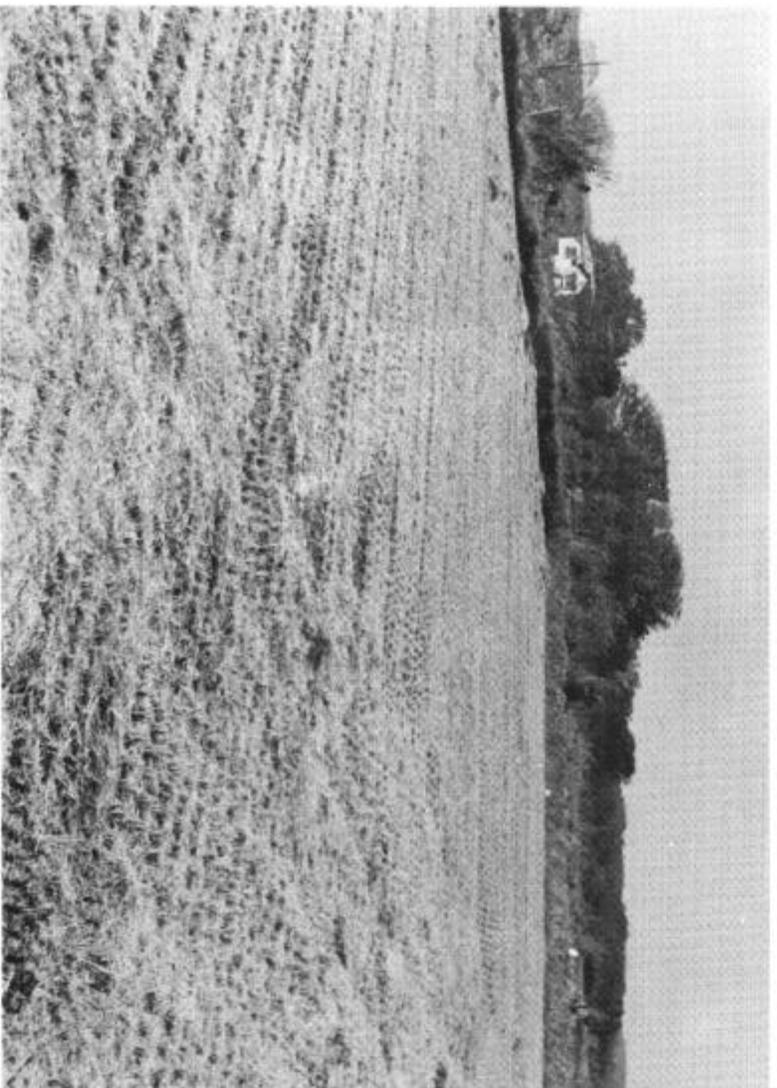
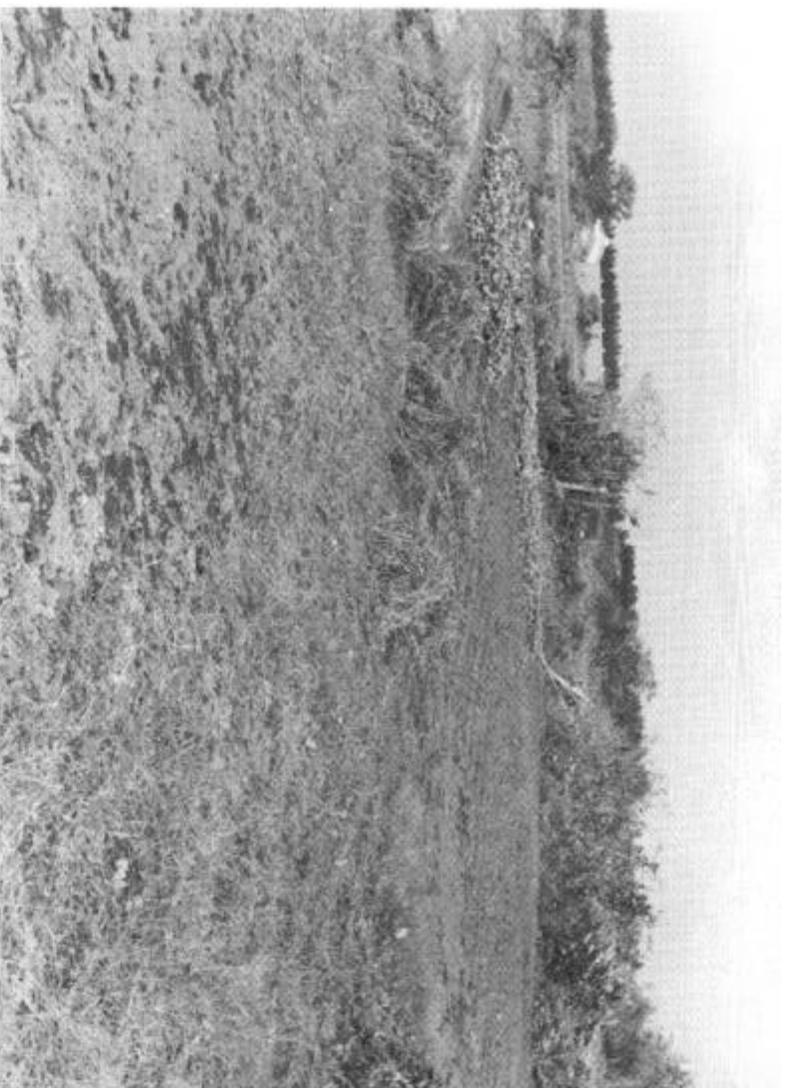


街道上遺跡

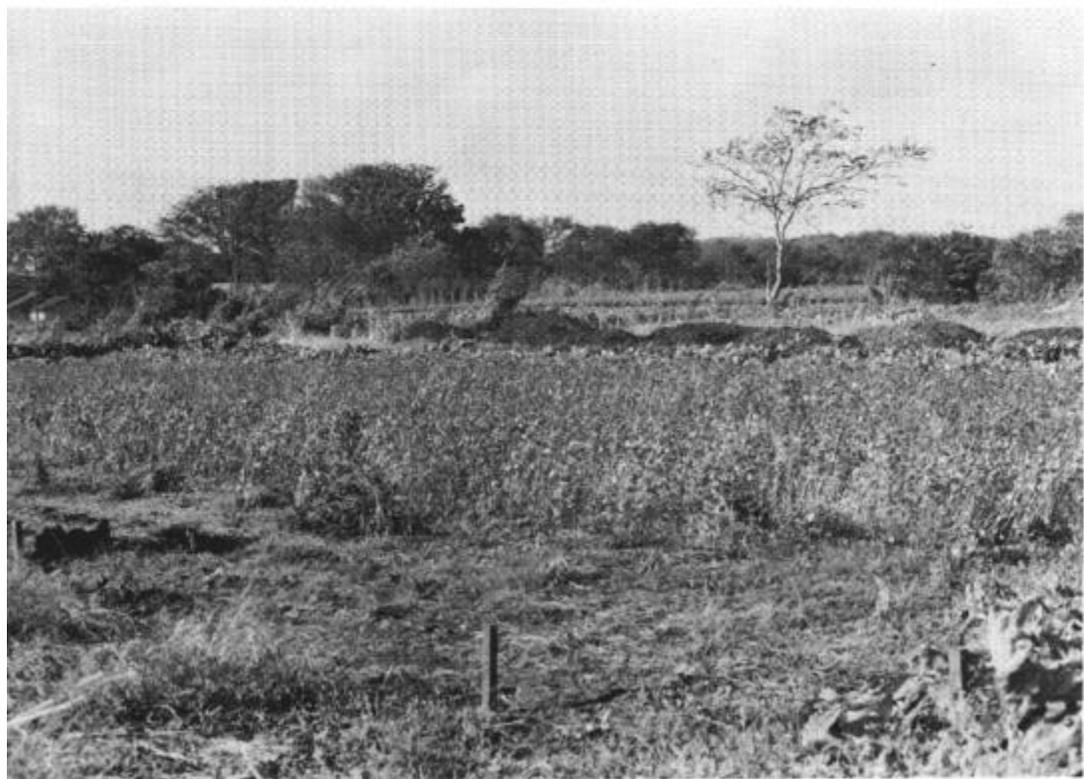
◀位置図 ($\frac{1}{50,000}$)

▼範囲図

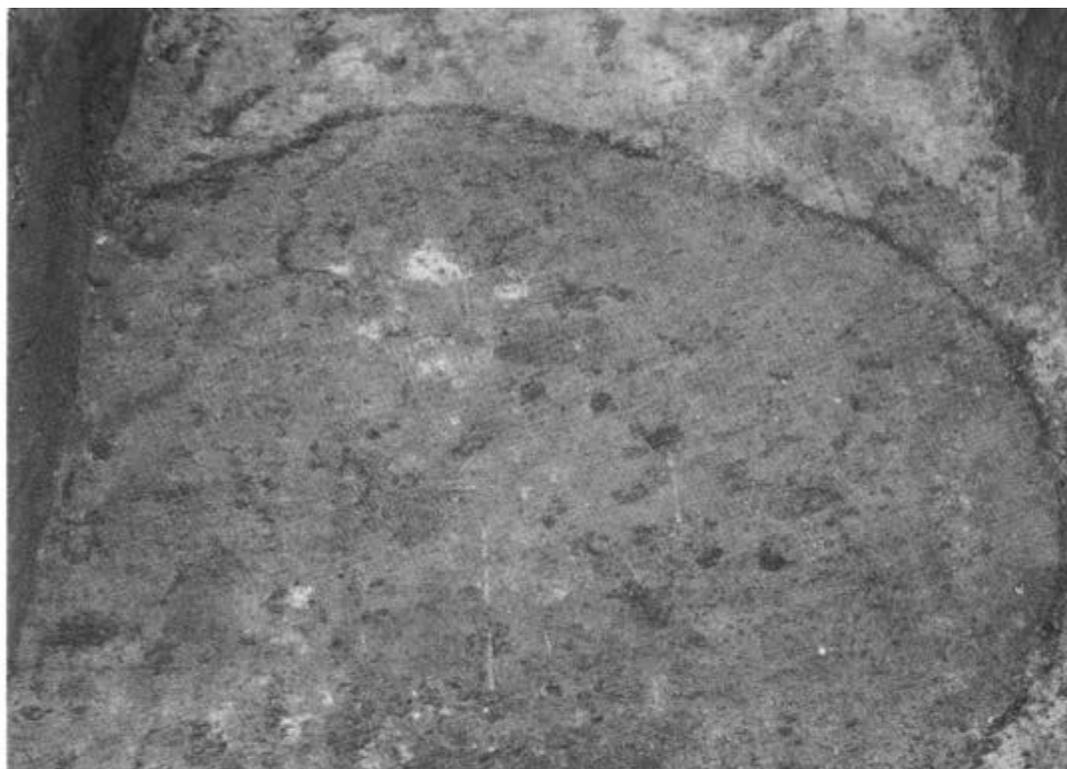




街道上 1



街道上 2



街道上3



街道上4

藤 株 遺 跡

1. 所在地

北秋田郡鷹巣町脇神字高森塚ノ岱

2. 面積

約9,300㎡

3. 調査期間

昭和54年11月5日～11月10日

4. 調査者

橋本高史, 佐藤和弘

5. 遺跡の立地の特徴（現況）

遺跡は米代川の支流小猿部川の右岸の河岸段丘上に位置する。現況は水田と畑地になっており、台地の南東半分約9,300㎡が遺跡と思われる。

6. 範囲・時代・性格

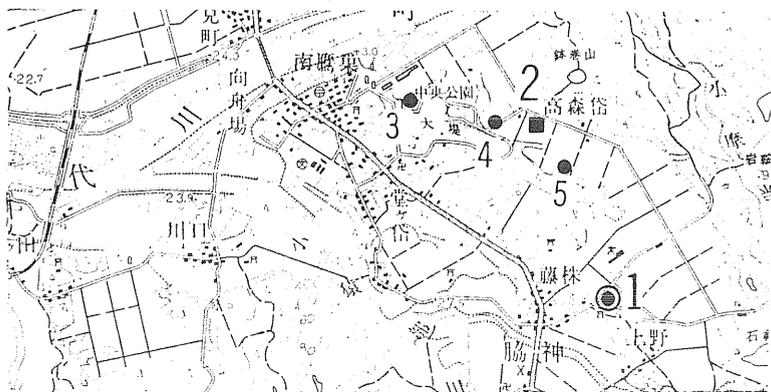
数回にわたる耕地整理等により、既に破壊された部分も多いが、東南端部や表土の深い部分は若干削られているもののほぼ遺構等が残っているとみられる箇所もある。今回の調査は台地中央部に限られたため、遺物の量はそれ程多くないが、縄文晩期の土器片が出土しており、縄文晩期の遺跡と思われる。遺構は台地中央部にて隅丸方形の住居跡（一辺約2.5～2.8m、柱穴4本）が検出されたが、伴出遺物がなく時代は不明である。

7. 地層（深さ）

現地表面から15～20cm程で遺物包含層にあたり、上部は耕作等により削られているものと思うが、ある程度の深さを持つ遺構であれば一部残っている可能性はある。

8. その他特記事項

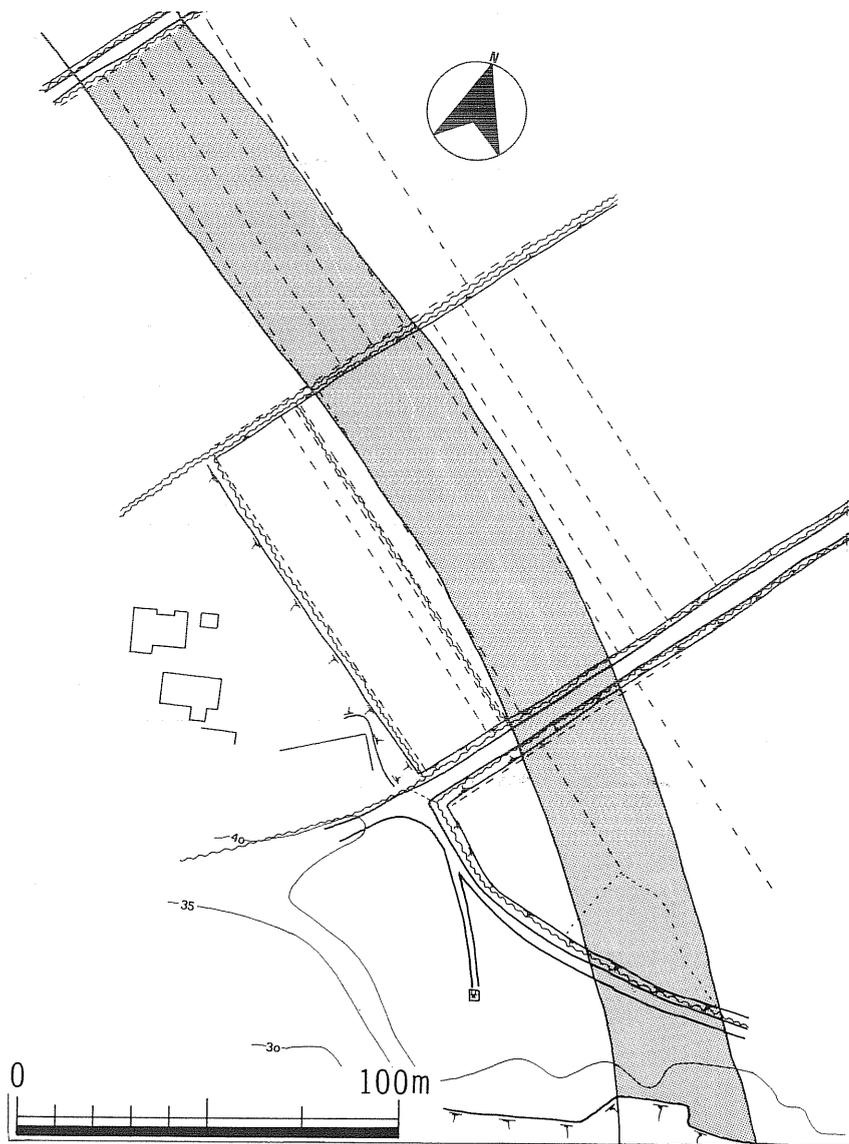
遺跡から約5km北の路線予定地内に南陣馬岱遺跡（図の2）を発見した。中心部分から離れたところを道路が通過し、盛土工法であるため、一部道路工事により破壊される予定の箇所を調査したところ、ほとんどが耕地整理のため既に破壊されていた。この遺跡も縄文晩期であり、藤株遺跡と何らかの関連があったものと思われる。

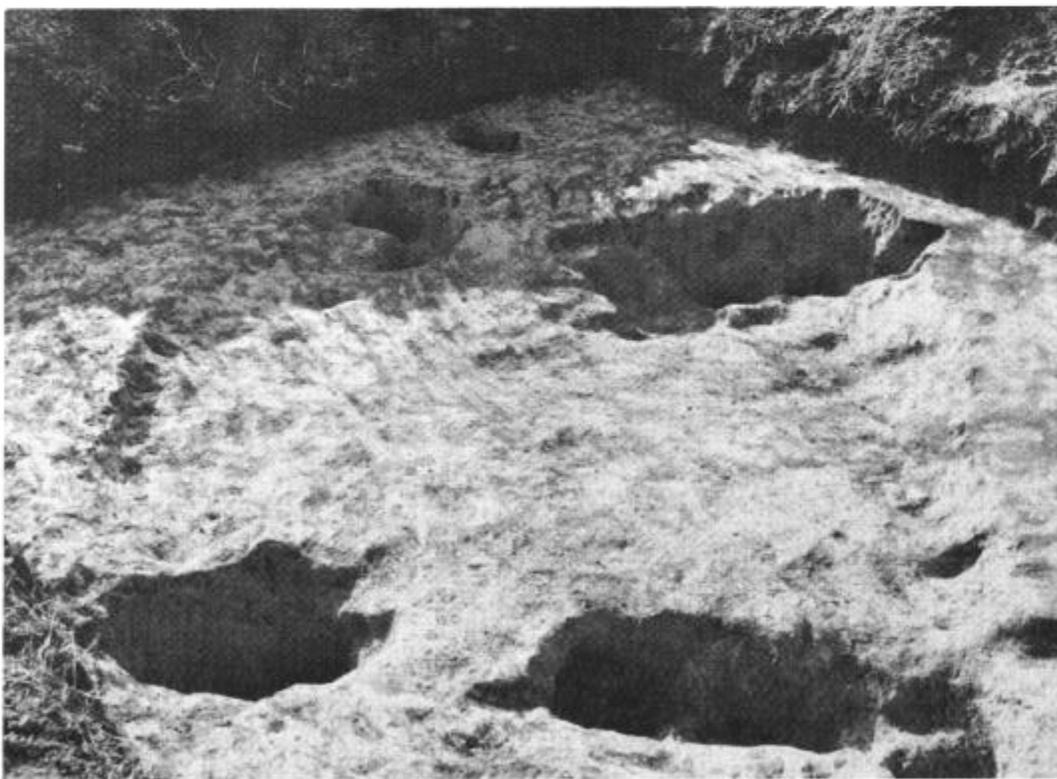


◀位置図 ($\frac{1}{50,000}$)

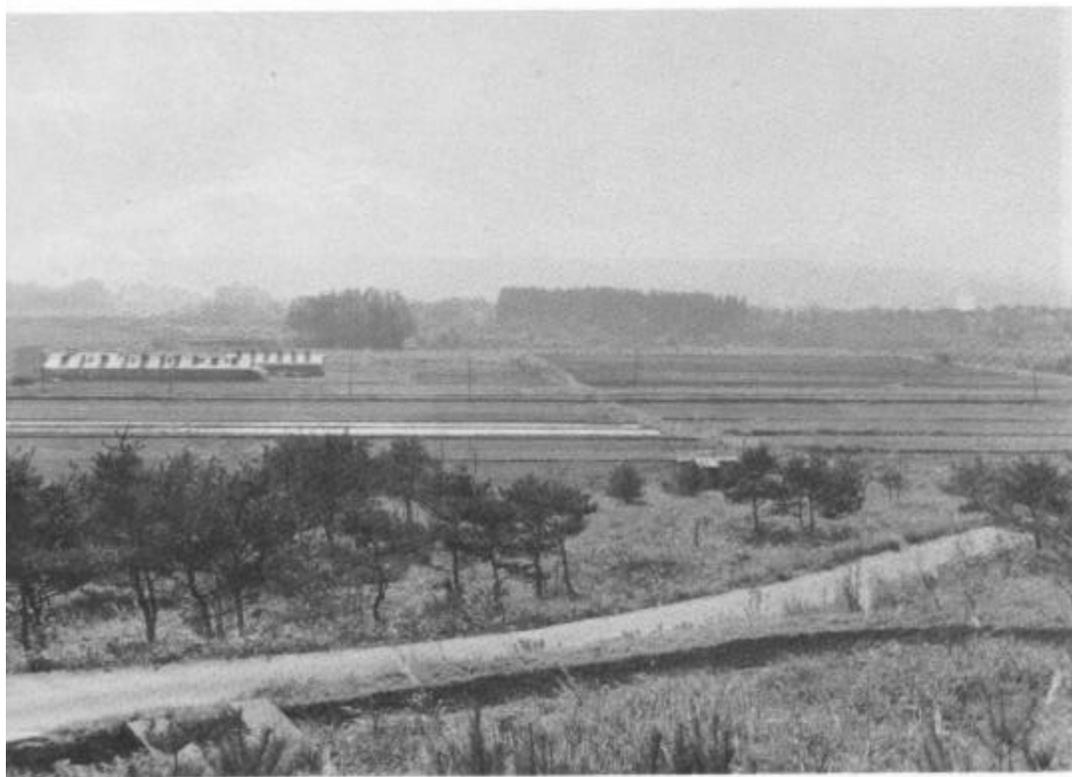
1. 藤株遺跡
2. 南陣場岱遺跡
3. 陣場岱 I 遺跡 (晩期)
4. 陣場岱 II 遺跡 (後期)
5. 高森岱遺跡 (中期)

▼範囲図 ($\frac{1}{2,000}$)





藤株 1



藤株 2

坂 の 上 遺 跡

1. 所在地

男鹿市脇本浦田字坂の上64

2. 面積

約20,000m² (30,000m²)

3. 調査期間

昭和54年11月5日～10日

4. 調査者

畠山憲司・田口 都

5. 遺跡の立地と特徴（現況）

遺跡は男鹿半島のくびれ部、寒風山から続く標高60～70mの洪積台地上にあり、寒風山山頂の真東2kmに位置する。遺跡のすぐ東側は旧八郎潟西岸にあたり、比高50mである。遺跡は現在、畑地と山林となっている。

6. 範囲・時代・性格

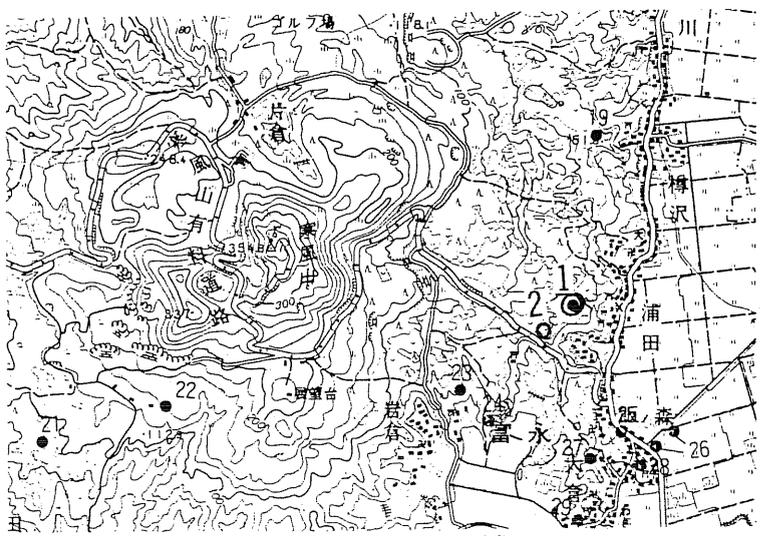
遺跡は南と北で時期が異なり、南の小台地上は縄文時代前期（約20,000m²）、北は同晩期（約10,000m²）で、両者間には浅い低湿地がある。南の前期の部分は台地の周辺が耕地整理されており、ブルドーザーにより遺構面までも破壊されている。また、前期部分の西側「曼陀羅堂」の北側には径20～30cmの円形のピットが散在する。本遺跡は縄文時代前期と晩期の集落跡及び中世の宗教に関連した遺跡であろう。

7. 地 層

前期及び晩期部分の畑地は耕作土直下から遺物が出土し、その包含層の厚さは50cm以上に達する。中世と思われるピット群は耕作土下すぐに検出できる（地山直上で確認）。

8. その他の特記事項

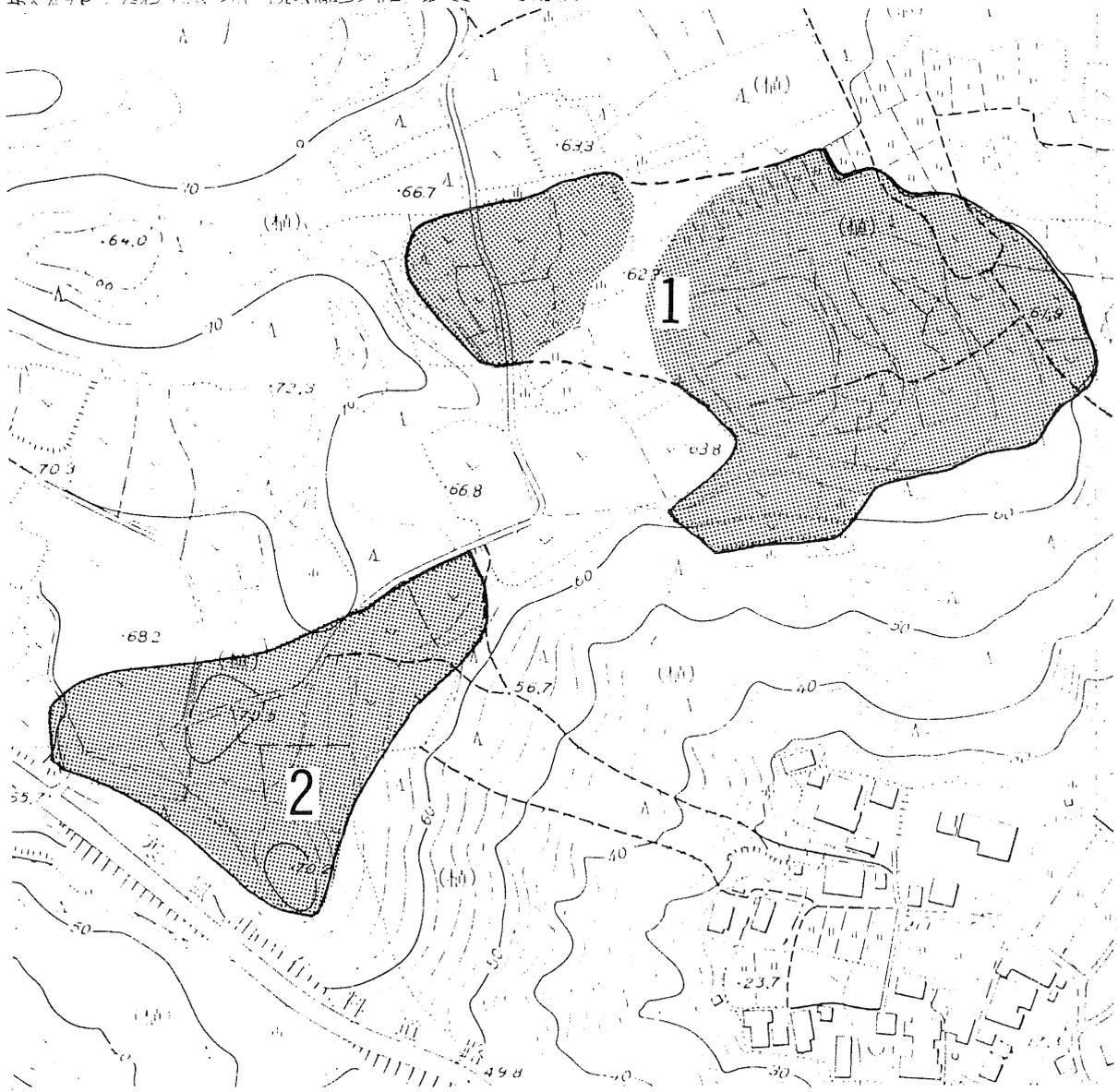
遺跡の南西端に「曼陀羅堂」と呼ばれる寺院跡か、とされているところがある。数基の宝篋院塔が現存する。



◀位置図 ($\frac{1}{50,000}$)

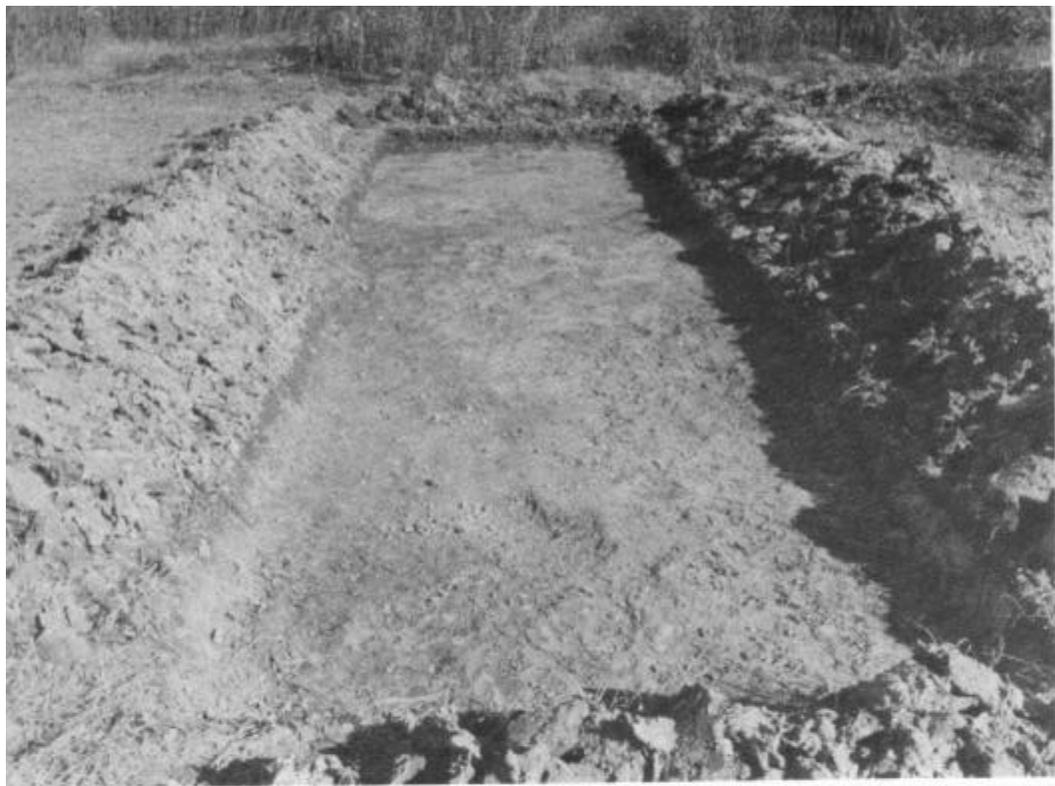
- 1. 坂の上遺跡
- 2. 菅の沢遺跡

▼範囲図 ($\frac{1}{2,500}$)





坂の上1



坂の上 2

菅 の 沢 遺 跡

1. 所在地

男鹿市脇本浦田字菅の沢

2. 面積

約7,000 m²

3. 調査期間

昭和54年11月 5日～10日

4. 調査者

富樫泰時, 池田憲和

5. 遺跡の立地と特徴 (現況)

遺跡は男鹿半島の名勝地寒風山の東方約1,500 mの台地上にある。標高68～70mほどある。遺跡の直ぐ東側は旧八郎潟の西岸にあたり、比高55mほどある。現在遺跡は大部分が畑地で一部山林である。

6. 範囲・時代・性格

遺跡は寒風山有料道路から右(北)に入る農道を中心にその東西にある。中央部が最も高くそこから南北に傾斜している。中央部からは溝状遺構(時期不明)、南側から土壇、竪穴住居跡と推測される遺構が確認された。時期は縄文時代後期。北側の一段低くなった地点からは弥生時代の土器と竪穴住居跡と推測される遺構が確認された。

7. 地層

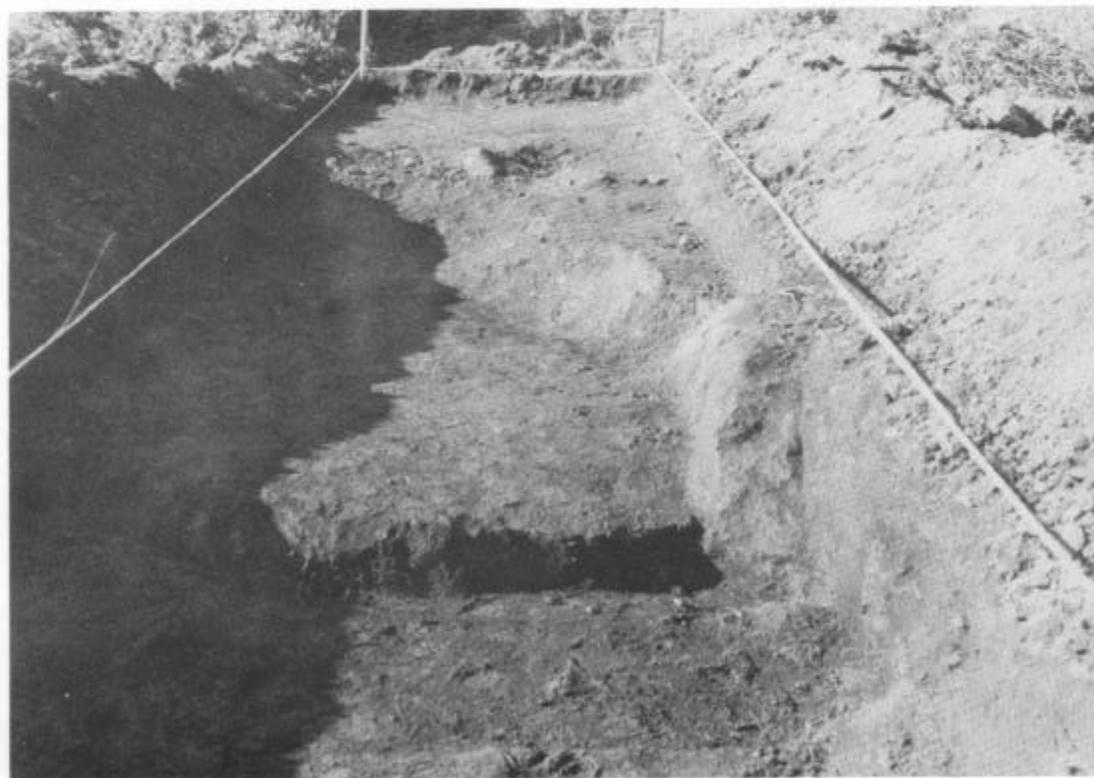
中央部の高い所は15cmほどでローム層(遺構確認面)に達する。南側に進むにつれて黒土層が厚くなり、深い所で1.2 mほどある。北側の地層は段々畑で表土が移動しており、自然ではない。

8. その他の特記事項

本遺跡は昭和54年度の分布調査で発見された遺跡である。北側の弥生式土器を出す遺構が竪穴住居跡だとすれば本県では最初のものであり注目される場所である。又立地している場所は西北南とも高く、この場所が、山のふところといった状態をなしており、このような場所を選んで竪穴住居を造っているとすれば今後弥生時代の集落跡を探求する上で参考となろう。



普沢 1



普沢 2